

官報第二千二百八十七號附錄

明治二十四年二月十七日

○衆議院 第一回 議事速記録第四十五號

明治二十四年二月十六日(月曜)午前第十時三十六分開議

議事日程 第四十五號 明治二十四年二月十六日

午前十時開議

豫算案

豫算案

○議長(中島信行君) 議員諸君ニ御報道致シマス、政府ヨリ海軍省所管軍艦及水雷艇并ニ兵器製造費繰越ニ關スル法律案ヲ提出セラレ、該案ニ就キ別紙之通り通牒アリタリ、別紙書記官ヨリ朗讀致シマス

(會稱書記官朗讀)

海軍省所管軍艦及水雷艇並兵器製造費繰越ニ關スル法律案
右議院法第二十七條但シ書及第二十八條但シ書ニ依リ議會ノ順序ヲ省略シ且ツ委員ノ審查ヲ經テ議定相成度此段及御通牒候也

明治二十四年二月十四日

内閣總理大臣伯耆山縣有朋印

衆議院議長中島信行殿

○議長(中島信行君)

高津仲次郎君ヨリ大藏省所管歲出臨時部修正案ヲ提出セラレタリ
海軍大臣官房主事海軍大佐本宿宅命君ハ、海軍省所管軍艦及水雷艇并ニ兵器製造費繰越ニ關スル法律案政府委員仰付ケラレタル旨、内閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ
本日ノ議事ニ移リマス、農商務省所管第一款第一項ヨリ、第二款ノ末項迄ヲ議題ト致シマス

(陸奧農商務大臣演壇ニ登ル)

○農商務大臣(陸奧宗光君) 諸君、昨年以来ヨリ此ノ豫算ノ會議ニ就イテハ、段々諸君ノ御勉勵アルニ拘ラズ、段々延引致シテ事情止ムヲ得ザルコトガアリ、或ハ議院ノ失火ガアツタリシテ、漸ク今日農商務省ノ所管ニ移リマシタ次第御坐イマス、而シテ議院ニ於テ段々修正ヲ加ヘラレマシタ所ノ査定案ト云フモノハ、丁度文部省マデ移ツテ來タコトデアツタ、今日ニ至ツテ農商務省ノ豫算ニ限ツテハ、必ズ原案ニ可決ニナルコトヲ希望シテ居リマス、ナレドモ必ズスルコトノ出來ヌコトデアル、而シテ前ニモ申ス通り段々延期ニナツタ今日ニ於テ、徒ニ長ク短ク私ガ演說ヲシテ、貴重ノ時間ヲ費スコトヲ恐レマスカラ、極短篇ニ申述ベテ宜シイコトト思ヒマス、唯沈黙ハ同意デアルト云フコトヲ表セラル、爲ニ、本省ノ費用ニ於テハ原案ニ可決アラント云フ、希望スルト云フ一點ニ止メテ置キマス、而シテ憲法六十七條ノ歲出ニ係ル所ノ各項ニ就イテハ、政府ハ他日意見ヲ吐露スルコトガアル迄ハ、之ニ對

シテ何等ノ辯明モセズ、何等ノ説明ニモ及バヌト云フコトハ、曾ツテ總理大臣ヨリ當議會ニ明言致シテアルコト御坐リマス、故ニ本官ニ於キマシテハ右ノ各項ニ關スルコトニ就イテハ、沈黙ノ自由ヲ守リマスルデ御坐イマス

○議長(中島信行君) 近藤準平君

(近藤準平君演壇ニ登ル)

○近藤準平君(七十番) 私ハあノ修正案、査定案、原案、是ハ今日ニ於キマシテハ、農商務ノ一省ノ所管ニ就イテハ總ヘテ反對デ御坐イマス、ソコデ大体本省ヲ廢シタイト云フ考デ御坐イマス、然ルニ此ノ廢シマスル所ノ事ニ對シマシテハ、多數ノ賛成ト云フモノモ如何ト考ヘマス、故ニ希望スル所ハ總ヘテ皆ナ少數ヲ消滅ニナルコトヲ希望致シマス、詰リ結果ハ廢省ニナリマス、ソコデ全体私ハ大体査定案ニ總ヘテ賛成者デ御坐イマスガ、あノ査定案ガあノ位ニ調ガ付キマシテ、文部省、農商務ノ二省ハなぞ廢省ニナラヌカト云フ、實ハ感シテ懷イテ居リマシタ、併シナガラ然ウ細イ所ニ這入ルト、却ツテ困難致シマスカラ、枉ケテ査定案ニ賛成致シマシタガ、此ノ農商務ニ至リマシテハ査定案ニモ賛成ガ出來マセヌ、なぞ此ノ廢省ノ結果ヲ得タイカト云フト、是迄十餘年間ノ經歷ニ依リマシテ見マシタ所ガ、全ク農商務ハ民間ニ益ガ御坐リマセヌデ、却ツテ害ガ御坐リマス——酷ニ申シマスレバ、——ソコデ農業上ノ事、商業、工業、總ヘテ之ヲ細ニ益ナクシテ幾分カノ害ガアルカモ知レヌガ——益ガナカツタト云フコトヲ長ク述べルト、却ツテ時間ヲ費シマス是ハ行政事務ニ從事ナスツタ諸君モアリ、勸業ニ奔走シタ諸君モアリ、私ガ一々述べヌデモ御承知ト考ヘマス、凡テ農業上ノコトニナリマス、今日ハ別段ニ農商務ノお蔭デカラニ益ヲ得タト云フコトモ御坐リマセズ、事柄ハ干涉デモナク放任デモナシ、唯技師デモ來テ年々一回カ二回位來テ、實際ノ今日ノ民業ニ適當シマセヌ所ノ演說ガアル位ナ話デアリマシテ、加フルニ此ノ錄一挺買フコトモ出來ヌ農民ニ向ツテ、機械耕作ヲ勸メテ見タリ、ちツばけナ地盤ニ大耕作ノ方法ヲ教ユル位ナコトデ、出來ナイ相談計リガ多イヤウナコトデ、又商業ニ至リマシテモ工業ニ至リマシテモ、却ツテ此ノ十州鹽田ノ如キぶるすノ如キ、總ベテ最ウ國情ニ適應致シマセヌ却ツテ騷擾ヲ醸シタコトモアルヤウナ次第デアリマス、且困リマスルノハ毎年々々各縣ノ表ヲ徴シテ、郡役所以下縣廳ト云ヒ或ハ町村役場等、總ベテ皆大層手數ヲ掛ケラレテ費用ナドヲ増スノミデ、何ガ益ガアルカト云フニ、我々ハ何ンモ是迄寸功ヲ見マセヌ、シマスルト是ハ農商務ノ惡イノデハナイ、農商務ノ人ガ惡イガ是迄隨分大臣ノ更迭モアツタノデ、更迭ノアツタ爲ニ今度ハ方針ガ變ツタト云フコトモ見マセヌ、今是ヨリ以後又人ガ變ツタ所ガ、今ノ政府ノ組織ニ依ツテ見ルト云フト、如何ニモ農商務適當ノ人デ、日本ノ農工商ノコトガ充分舉ツテ矩合ヨク行カウト云フ信用モ私ハ致シマセヌ、故ニ是等ハ總ベテ廢スルコトニ企望シマス、然ウシマスルト云フト一體是ガ廢省ニナリマスレバ、事務ハ何處デ扱フカト云フト、内務省ノ總務局デ扱ヘバ澤山デ、用ノナイコ

○議長(中島信行君) 少數——查定案ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數、查定案ニ決シマス

遞信省ノ所管、遞信省ノ所管第一款ヨリ第四款ノ末項マテヲ議題ト致シマス

○高木正年君(百十番) 豫算……前ニ質問致シタイコトガアリマス、政府委員ニ質問致シタイコトガアリマス

○議長(中島信行君) 御質問ニナツテ宜シウ御坐リマセウ

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百十番) 私ハ先達豫算會議ノ全院委員會ノ節ニ於テ、政府委員ニ向ツテ遞信省ノ物品買入ニ就イテ質問致シマシタ、所ガ其ノ當時委シテ取調ヘテ置カウト云フコトデアツタガ、未ダ今日迄我々ノ疑惑ヲ解クダケノ明答ガ御坐イマセヌ、自分ハなぜ左様ノコトニ就イテ貴重ノ時間ヲ費シマシテ、政府委員ニ質問致サナケレバナラヌカト申スニ、遞信省ノ豫算ノ信用ハ此ノ一事ニ就イテ、頗爾係ヲ持ツテ居ラウト思ヒマスカラ、更ニ諸君ノお聴キヲ煩シ、且政府委員ニ向ツテ詳細ナル御明答ヲ請ヒタイノデアアル、其ノ事ハ過日モ長ク述ベマシテアルカラ、定メテ諸君ノ御耳底ニモ存シ、政府委員ニ於テモ知ツテ居デノ事ト思ヒマスカラ、敢テ再言ハ致シマセヌガ、此ノ遞信省ニ於キマシテハ、昨年ノ冬以來豫定價額ナルモノヲ設ケテアル、此ノ豫定價額ナルモノハ、一方ニハ若シ政府ガ物品ヲ買入レルニ、粗造ノ物品ヲ買ツテハナラナイ、入札ヲ爲ス場ニ價ノ上ニ買ツテハナラナイ、ト云フ所カラ極メテ一ツノモノデアアル、然ルニ今日ノ遞信省ノ會計上ノ有様ヲ見レバ、其ノ豫定價額ト云フモノニ達セヌケレバ……即同ジカラチバ入札ヲ落サヌト云フコトデアアル、豫定價額以內デ買ハレルモノモ、價額ニ達セヌカラト云フコトデアアル、更ニ落サレヌト云フ事デアアル、是ハ豫算委員會ノ時ニ質問シマシテ、其ノ事ハ追ツテ答ヘラル、皆デアツタ、所ガ其ノ後又證據ガ現レテ參ツタ、ソレト申スハ即本月四日ノ毎日新聞ノ記事デアアル、少シク之ニ就イテ伺ヒタヒカラ、お聴キシクハ御坐リマセウガ一寸朗讀致シマス

豫定價額ノ得失 遞信省入札ニハ去冬ヨリ一切豫定價額ト云フヲ大

臣親ラ豫定シテ開札ノ日ニ之ヲ開キ其價額近接ノモノニ始メテ落札アルヨシハ世上ノ噂ヲモ聞キ此程ノ全院委員會ニテ高木正年氏ノ質問ニモアリシガ去月二十八日ニモ大角片囊(郵便ヲ入レマスヅクノ袋デス)トテ郵便物ヲ船積ナドニスル時用井ルモノニテ一尺五寸四方ホドノ布袋一千個ノ開札アリテ七十五錢以上イロノノ入札アリシモ大臣ノ豫定價額ガ一個一圓ニテアリシマ、終ニ此ニ近直ノ一圓一錢ト云フ銀坐四丁目ノ白井某ト云フガ落札ニナリシ由

後ノ評論ハ讀ミマセヌガ、入札ハ競争金額ノ餘リニ廉價ニ落チタ爲ニ、實際ニ當ツテ請負ハセタ所ノ工事モ、官省ニ於テ受取ルコトガ出來ナイ、ト云フヤウナル弊害ヲ防グ爲ニ、或場合ニ於テ要用ノコトモアル、然ルニ普通ノ價額アルモノニモ豫定價格ヲ設ケテ、ソレニ近接セザルモノデハ一切落サナイト云フコトニナルト、其ノ物品ヲ安ク買フ爲ニモアラズ、又良キ品ヲ買フ爲ニモアラズシテ、必竟政府ノ機密ヲ知ル者ノ爲ニ僥倖スルト云フニ至ツテハ、自分等ノ甚ダ不可思議ニ堪ヘザル所デアリマス、故ニ今日ノ會計法ニ共

ノ事ガ許サレテアルカト云フニ、故ラニツレ等ノ規定ハナイガ、會計規則ノ七十二條ニ「競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フベシ」之ニ就イテ取除ケガアル、例ヘバ一ノ會社デ專賣デ賣ツテ居ルモノトカ、又其ノ買入レル物ガ秘密ニシナケレバナラヌモノトカ、軍馬トカ、總ヘテ異ナル條件ガナケレバ、公ノ入札ニ附スルノガ會計法ノ正條デアアル、又會計規則ノ上デモ物品入札ノコトハ種々ノ規定ガ御坐リマスガ、今日遞信省ニ於テ致サレマスヤウナ、價額ノ通りノモノヲ買ハナケレバナラヌト云フコトガ出テ參リマセヌ、然ルニ何故ニ遞信省ハ箇様ノ事ヲ爲サレテ居ルカ、之ニ就イテハ一々會計法、會計規則ヲ讀ンデ、質問スルコトモ要リマスマイガ、遞信省ハ豫定價格ヲ定メテ置イデ、四百萬圓ニ對スル物品ヲ買ハナケレバナラヌト云フノハ、何故デアアルカト云フコトヲ質問スル、而シテ特ニ自分等ガ満足シ得ルヤウニ、政府委員ニ於テ答ヘラレナケレバナラヌノニ、今日ニ至ルマデ之ヲ默々ニ附セラル、ノハ、如何ナル理由デアリマスカ、其ノ事ヲモ併セテ質問致シマスル

(政府委員前島密君演壇ニ登ル)

○政府委員(遞信次官前島密君) 繰返シテ御質問デ御坐リマスガ、此ノ取調ト云フモノハ隨分多數ノ掛リマスコトデア、なせト申スニ唯本省一部バカリデハ御坐リマセヌ、デ各地ニ就イテ種々委シウ調ベマスニハ、餘程多數ガ掛リマスカラ、一々調ハ附イテ居リマセヌ、ソレ故ニ今日迄御報道ハ致シマセヌシ、又御報道申ス價値モ御坐イマスマイト思ツテ、延引致シテ居リマシタガ、唯繰返シテ一應御答ヲ致セバ、ソレデ大抵お分リニナラウト思ヒマス、成程物品ヲ買入レマスルニ、豫定價額ハ入ラナイト云フ御質疑ハ、彼ノ小買物ニ向ツテハ左様ナオ考ガ出デ參リマスノハ一應御尤、然ルニ品物ニ依ツテハ豫定價額ガナイト云フト、なかく買フコトガ出來ヌコトガ遞信省ニハ澤山アル、なせト申スト例ヘバ海底電線ヲ買フ、是ハ漫ニ安イモノデアリサヘスレバ宜イト云フテ買入レレバ、頗るぶなイ事カ起ル、其ノ他銅線ノ如キ電線ニ關スルモノ、如キ、無闇ニ安イモノニ落札サセルト、時機ヲ過ツテ困ルト云フコトガアル、ソレデ茲ニ一二ノ例ガアル、昨年函館ト青森ノ間ノ海底電線、此ノ買入ヲ致シマスル時分ニ、豫定價額ヲシテ置カナカツタ、是等ノ如キハ何ニシテモ豫定價額ガナケレバナラヌモノデアツタガ、落札致シマシタ所デ當務ノ技師其ノ他ガ如何ニモ安過ギテ困ル、連モ是デハ買ヒキレマイト云フコトデア、段々實際ヲ調ベテ見マシタ所ガ、利益ハ少シモナイ、利益ハ少シモナイ、ケレドモ日本政府ノ品物ヲ引受ケタト云フコトガ外國ノ製作場ニ知レルト、他日ノ名譽ニナツテ取引上信用ニナルカラ、少シハ損ガイツテモ引受ケルト云フ様ナコトデ終ツテ、止ムヲ得ズ命ジタ、ソコデ海底電線ノ如キモノハ、運送中ニ矢張水中ニ置カナケレバナラヌ品物デアアル、例ヘテ見ヤウナレバ、金魚ヲ注文スレバ必ズ水中ニ入レテ持ツテ來ルモノト思ツテ居ツタ、所ガ到着シテ見ルト水中ニ這入ツテ居ラズ燥イテ居ル、實ニ驚イテ速ニ試験ヲシマシタガ、幸ニシテ差支ナウ到着シマシタ、デ用ヲナシマシタガ、サリナガラ之ヲ詳シウ案ジテ見ルト、印度ノ如キ熱地ヲ經過シテ參ツタカラ護謨ガ軟ニナツテ、其ノ護謨ノ中ニアル銅線ガ、位置ヲ變ジテ居リハシナイカト云フ心配ガアツタ、然ウ云フ例モ御坐リマスシ、既ニ昨年銅線ヲ入札致サセマシタ所ガ、如何ニモ……一寸例ガ……

○高木正年君(百十番) 私ガ質問致シタ所ハ、今ノ如キ漠然タルお答デハ困
リマス、實際遞信省デ買入レルモノ、中、何々ハ豫定價額ヲ無ケレバナラヌ
カト云フお答ヲ求メタイ、今ノ如キ豫定價額ヲ置カナカッタ爲ニ、云々ト云
フ如キコトデ、一言デ抹殺セラレテハ困リマス、畢竟遞信省デ買入レル
モノノ中デモ、石炭ノ如キ、電信ノ如キ、如キ素製品ニ屬スルモノハ、決シ
テ次官ノ言ハル、如キ弊害ハナイト云フ事ハ分ツテ居ル、然ルニ若シ遞信省
ノ主義デ、豫定價額デナケレバ出來ヌト云フコトニナルト、各省全體トモニ
豫定價額デナケレバナラヌト云フコトノ結果ガ來ル、然ルニ今日遞信省バカ
リデ之ヲ爲サレテ居ルノハ、自分等ノ疑問ノ種デアル、如何ニモ遞信省ニ於
テ海外ニ向ツテ約束スベキモノ、是等ハ入札デナク買入レルノモ、或ハ必要
デ御坐リマセウ、ソレデアルノニ新聞ニ記ス所ノ如クシテ、ずつクノ古マデガ
二割以上モ高ク買ツテ置イテ、ソレデ恬トシテ願ミラレナイデ居ルト云フハ、
詰リ會計上ノ取締ガ惡ルイト云ハナケレバナラナイ、依ツテ海底電線ニ限ラ
ズ、何事モ豫定價額ヲ以テシナケレバナラヌノデアルカ、ト云フ事ヲ詳細ニ聽
キタイノデアル、今漠然トシタルお答ヲ以テ辯シラレテハ困リマス、石炭ノ如
キ、わいの如キ、紙、鐵ノ如キ素製品ハ、豫定價額ヲ以テスルノ必要ハナイ、
若シ其ノ品ガ惡ルカッタナラバ斷ルダケノコトデアル、縱令次官ノ言ハル、
如ク豫定價額ガアツタニシテモ、請負人ノ德義如何ニ依ツテハ、隨分豫定價額
ガ有ツテモ無クツテモ、同ジヤウノ結果ニナラウト思フ、故ニ自分ノ思フ所
デハ秘密ニスベキモノトカ……

○議長(中島信行君) 討論ニ涉ラヌヤウ

○高木正年君(百十番) 討論デハアリマセヌ、質問ノ趣意ヲ申シテ自分ガ滿
足スル丈ノ……我々ノ信用シ得ル丈ノお答ヲ求メタイノデアル……

○政府委員(遞信次官前島密君) 只今舉ゲマシタ例ハ大キナ例デ……其ノ他
ノ物品ニ就イテモ、なか／＼大變ナ品物ヲ同時ニ注文スルコトガアル、ソレ
故ニ中ニハ豫定價額ヲ定メテ置ク方ガ宜イモノガアルカラ、遞信省ニ於テハ
豫定價額ヲ定メテ居ル、併シナガラ必シモ皆ナ豫定價額デアルト定メモシナ
イ

○高木正年君(百十番) 左様ナお答ナラ別ニ要リマセヌ、唯豫定價額ト云フ
モノハ會計規則ノ何條ニ依ツテ定メタルデアルカ、其ノお答ヲ伺ヒタイ

○政府委員(遞信次官前島密君) 是ハ會計法ニハ少シモ關係ハナイ、會計法
ハ是ハ競争公賣……競争入札ヲサセルコトデ、故ニ此ノ豫定價額ハこちヲノ
只ズレ位デ、出來ルノト云フコトヲ豫定シテ置ク丈ノモノデ、一向差支ナイ
ノデアル

○高木正年君(百十一番) ソレナレバ一ツ伺ヒマス、豫定價額ハ入札法デア
ルコトハ會計規則ノ内ニ御坐リマス、例ヘバ百圓デ買フベキモノガ、實際百
圓ノ上ニナルトキハ入札法ヲスル、めどノ爲ニ豫定價額ヲ極メテアルノデア
ル、然ルニ遞信省ハ必ズ其ノ金デ買ハナケレバナラヌ、實際云フ御用町
人ニ命ジテ買フト同ジ理窟ニナリマスガ、遞信省ハ豫定價額ヲ入札デナイコ
トヲシテ居ルハ、會計規則ノ上ニ於テ此ノ事ハ許スカラザルコトハ、自分
ハ斷言致スコトヲ憚ラヌ事實デアルト認メマス

○政府委員(遞信次官前島密君) 只今新聞ノコトヲ以テ例証ヲサレマシタ

ガ、是ハ一概ニ信用シテハ行ケヌノデアル、品物ノ善惡モ自ラアリ、又前ニ
郵便物ヲ入レルザツクノ囊杯モ、殘ラヌ同ジモト思ツテハ行ケヌノデアル、
ソコハ私ガ別段ニお答ヘスル程ノコトハナカラウト思フ、而シテ遞信省ハ殘
ラズ豫定價額ニシナケレバナラヌト定メテハ居リマセヌ

○高木正年君(百十番) 私ハ新聞ノ事實ノミデハ御坐リマセヌ、豫定價額ハ
必要ト云フコトヲ見出サバナラヌ爲ニ質問ヲ致スノデ、然ルニ只今ノヤウ
ナお答デ……水掛論ノお答ナレバ、最ウ聽ク必要ハアリマセヌ、遞信省ノ豫
算ノ上ニ信用ヲ置ク爲ニ同ヒマスノデス

○政府委員(遞信次官前島密君) 充分信用ヲお置キナスツテモ、必ズ不都合
ハアリマセヌ、ソレ丈ハ行政權ニ任セタ方ガ宜シイ

○議長(中島信行君) 末松三郎君……魚住逸治君……綾井武夫君……井上角
五郎君……小間肅君

(小間肅君演壇ニ登ル)
○小間肅君(百二十四番) 私ハ實ハ定メテ此ノ査定案ニ對シテ、反對ノ説ガ
起ラウト云フ考ヲ持ツテ居リマシタ、然ルニ今ヤ査定案ニ對シテ一人ノ反對
モナイヤウデ、果シテ然ウナルト別段私ハ辯明スル程ノ必要ハナイ、只其ノ
菅君ノ案ト佐々田案ハ、既ニ彼ノ外務省ノ時ニモ私が引證シマシタ通り、大
變ニ間違ガアリマス、斯ノ如キ間違ノモノヲ議決セラレテハ大變ニ困リマス
カラ、此ノ事丈ヲ申シテ、最早査定案ニ就イダノコトハ是デ止メマス

○議長(中島信行君) 田中正造君

○田中正造君(二百七十七番) 私ハ政府委員ニ質問致シマス、本日ハ遞信大
臣ガ出席スルヤウナ通知ガアツタサウデ……

○議長(中島信行君) 質問ナレバ差止メマス、色川三郎兵衛君……

○田中正造君(二百七十七番) 少々質問致シマス、遞信大臣ガ居ルナラバ大
臣ニ質問致シマス

(登壇々々ト呼ブモノアリ)
○議長(中島信行君) 今日ノ議題デナケレバ……

○田中正造君(二百七十七番) 議題ニ關係シテ居リマス

(田中正造君演壇ニ登ル)
○田中正造君(二百七十七番) 本日ハ遞信大臣ガ出席ニナル様ニ、議長ノ手
許迄通告ガアツタト云フ新聞ガ……各新聞ニモアリ、又私モ新聞ヲ信シ過ル
カ知ラヌガ、然ウアルモノデアルカラ、本日ハ遞信大臣ニ質問スル積デ出テ
來マシタガ、矢張政府委員丈シカお出ガナイ、是ハ一体私ハ是迄度々議長ニ
發言ヲ請ヒ、全院委員會ノ時ニモ發言ノ機會ヲ請フタガ、四度議長ニ停止サ
レマシタ、唯一箇ノコトニ就イテ餘リ議場ノ妨ニナル故ニ、今日迄ハ差扣
ヘテ居リマシタ、然ルニ今日ハ遞信大臣ガ御出張ニナルト云フコトデ、質問
ヲスル廉ヲ議論内ニアリマシテモ、矢張私デハ權利ガナイト云フコトヲ以テ
逃ゲルニ相違ナイガ、一体遞信大臣ガ御出席ハ出來ヌ答デアル……

○議長(中島信行君) 田中君ニ申シマス

○田中正造君(二百七十七番) 速記録ニ立派ニ記載シ給へ……議員ヲ罵詈
……

○議長(中島信行君) 田中君差止メマス……

○議長(中島信行君) 田中君差止メマス……

○議長(中島信行君) 田中君差止メマス……

○議長(中島信行君) 田中君差止メマス……

(無用ヤト呼ブモノアリ)

(田中正造君演壇ヲ降ル)

○議長(中島信行君) 色川三郎兵衛君……橋本久太郎君……改野耕三君……發言ノ申シ込ミノ諸君ハ皆拋棄ニナリマシタデ、別ニ發言ガナケレバ決ヲ採リマス……

(決ヤト呼ブ者アリ)

○政府委員(遞信次官前島密君) 議長……

○議長(中島信行君) 前島君……

(政府委員前島密君演壇ニ登ル)

○政府委員(遞信次官前島密君) 一應念ノ爲ニ私モ例ニ依ッテ申シ述ベ置キマス、憲法六十七條ニ依リマシタ所ノ費額ニ就キマシテハ、別段喋々何モ申シマセヌ、默シタルハ即承諾シタ姿デアルト云フコトノ前言モ御坐リマス、即默シテ居リマスノハ決シテ之ヲ承諾シタト申ス譯デハ御坐リマセヌ、(大聲ニ願ヒマス些トモ聞ヘナイト呼ブモノアリ)一應ツレ丈ヲお斷リヲ致シテ置キマス

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、佐・田君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(中島信行君) 少數デアリマス、次ニ菅君ノ修正案ニ就イテ決ヲ採リマス、菅君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(中島信行君) 少數デアリマス、次ニ査定案ノ決ヲ採リマス、査定案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數、査定案ニ決シマス、少シク時間ハアリマスガ暫時休憩ヲ致シマス

十一時二十五分休憩

午後零時五十五分開議

○議長(中島信行君) 議員諸君ニ報道致シマス、文部省所管修正案審査特別委員ニ

天野爲之君 佐竹義和君 江橋 厚君

岩崎萬次郎君 蒲生 仙君 改野耕三君

宇都宮平一君 伊藤大八君 二田是儀君

當選セリ

全院委員會ノ節、大藏省へ要求セシ地租並ニ貸付金始末ニ關スル書類、本日送付アリタルヲ以テ、例ニ依ッテ談話室ニ備ヘ置クベシ

本日ハ總理大臣ノ發議ノ申込ガアリマスガ、是ヨリ發議ヲ……

○内藤利八君(百四十四番) 其ノ前ニ一寸申シテ置キマス、只今議長ノ報道ノ地租ニ關アルコトノ答デアリマスガ、是ハ本員モ一覽致シマシタガ、餘程必要ノ書類デアリマスカラ、願ハクハ印刷ニ付セラレマシテ、各議員ニ配布セラル、ヤウニシタイ、連モ大部デアリマスカラ談話室ニ備ヘ置イテモ、各

議員ガ通ジテ見ルコトガ出來マセヌカラ、是ハ矢張前例ニ依リマシテ印刷ニナサレンコトヲ……

(西尾傳藏君、是非印刷ニ願ヒタイ)

○下飯坂權三郎君(百五十八番) 私ハ一寸申上ゲテ置クコトガアリマス、外ノコトデアリマセヌガ、本日總理大臣ガ御演說ノコトヲ只今議長カラノ御報道デアリマシタガ、どうカシテ演說ノ半ニ他ニ發言ガアツテハ、兎角議會ノ体面ニモ宜シクナイコト、思ヒマスカラ、どうカ山縣總理大臣ニハ成ル丈高キ聲ヲ願ヒタイ、其ノ譯ハ私杯ハ大概聽取ツテアツタヤウデアリマス、ケレドモ半ニ居リマシテモ折々聽キ漏スコトガアリマスカラシテ、速記録ニ依ッテ斯ウ云フ御演說ガアツタカト云フヤウナコトヲ、あゞデ承知スルヤウナコトデ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマスカラ、此ノ事ハ謹ンデ山縣總理大臣閣下ニ豫メ請求シテ置キマス

○議長(中島信行君) 最ウ一ツ申シマスガ、田中正造君ノ議長ノ中止シタ文言ハ、例ニ依ッテ速記録ヨリ除キマス

(田中正造君、どう云フ理由デお除キデアリマス)

○議長(中島信行君) 議長ノ注意シタ以後ノ言葉ハ削リマス

○田中正造君(二百七十七番) 如何ノ事デお削リニナルノデスカ、公然タル公會ニ於テ述ベキ權利ヲ得テ述ベタコトヲ、お削リニナルノハどう云フ御理由デアリマスガ、一休其ノ事ハ議長閣下ニ於キマシテ……どう云フ御理由デ御坐リマスガ、先ツ承リマセウ

○議長(中島信行君) 田中君ニ申シマス、即議長ガ中止シタル田中正造君ノ發言中、議場ニ現行犯ヲ犯シタルト云フ言葉ヲ速記録ヨリ削リマス

○田中正造君(二百七十七番) どう云フ譯デアリマスガ

○梶田喜左衛門君(七十三番) 内藤君ノ請求シマシタ書類ハ、どうカ私ニ於テモ希望致シマスカラ、活版ニシテ……

○議長(中島信行君) ツレハ手數ノコトデアリマスカラ、出來ル丈ノコトハヤル積リデアリマス……、山縣君

○田中正造君(二百七十七番) どう云フ理由デ惡ルイト云フノデスカ

○議長(中島信行君) 二百七十七番、何ヲ申シマスガ

○田中正造君(二百七十七番) 理由ヲ伺フノデス

○議長(中島信行君) 理由ハ只今申シタ通り、中止シタル先キハ許シマセヌ

○田中正造君(二百七十七番) 他日……

(山縣總理大臣演壇ニ登ル)

○總理大臣(伯爵山縣有朋君) 諸君、本官ハ本院開會ノ始ニ當リマシテ、内外ノ政策ニ關シテ其ノ大要ヲ演說致シ、且其ノ後憲法六十七條及百五十四條ニ就キマシテ、其ノ所見ヲ述ベテ諸君ノ清聽ヲ煩シマシタガ、今又茲ニ本官ガ誠意ヲ一言吐露致シマシテ、諸君ノ深思熟考ヲ望ムベキコトガ御坐リマス、其ノ事タルヤ日本帝國ノ國是ハ何レノ邊ニアルカ、又此ノ國是ヲ實行スルニ就キマシテハ、何等ノ針路ヲ執ルヘキカノ一大綱目デアアル
抑々日本帝國ノ國是ハ維新以來確乎トシテ定ツテ、一日モ變更ノナイコトデアアル、故ニ今更メテ之ヲ陳述スルハ必要ハナイカナレドモガ、政府ハ既往ニ於テモ現在ニ於テモ、又後來ニ於テモ其ノ主義トナシ、其ノ方針トナス所ノモ

ノハ、此ノ國是ヲ實行スルノ外ニアリマセヌコトヲ御坐イマス、故ニ政府ノ意向ヲ陳述致シマシテ、今日陳辯スル所ハ……辯スル所ノモノハ最必要ノ事ト存シマス、既ニ諸君ニ於キマシテモ熟知セラルル通りニ、回顧致シマスレバ二十三年前ノコトヲ御坐イマスガ、維新ノ始ニ當リマシテ、詔勅ヲ以テ開國ノ主義ヲ明ニ定メラレタル以來、政府ハ一意ニ其ノ開明ノ進歩ヲ謀リ武備ヲ張り、文物ヲ修メ、舊來ノ陋習ヲ破ツテ、百般ノ制度ヲ新ニ致シマシタ御坐リマス、内ニハ國民ノ智識ヲ進メ、其ノ幸福ヲ増進スルコトヲ務メ、外ニハ各國ト交際ヲ厚ク致シマシテ、共ニ對立スルコトヲ望ムテ來タモノヲ御坐リマス、此ノ二十有四年ノ間、一日モ變更スルコトヲナイモノハ即國是デア、而シテ上下相譽ケテ希望ヲ共ニスルモノハ即此ノ國是デア、謹ンデ（高聲ニ願ヒマス）ト云フモノアリ、今上陛下ノ御座ラセラルタル以來、其ノ詔勅ヲ拜讀シ奉ルニ、所謂御親征ノ詔ヨリ致シマシテ、帝國議會開會ノ勅語ニ至リマス、十ヲ以テ數フルノ多キニ及ビマシタガ、内ニハ國民保安ノ道ヲ盡クサセ給ヒ、外ニハ國威ヲ中外ニ耀カサンコトヲ望マセ給ヘタル、賢クモ大御心ハ始終貫通シテ變ルコトヲナイコトヲ御坐リマス、（最ウ少シ高聲ト呼ブ者アリ）私ハ聲ガ出マセヌ、是ヨリ上ハ……議長ニお斷リナツテ、こッちへ出デナサレタラウ御坐ンセウ……斯ノ如キ大御心ハ即我が帝國ノ一定ノ國是デア、故ニ我が政府ノ先進諸氏ハ此ノ聖意ヲ奉戴シテ、此ノ與望ヲ担ヒ、既往二十餘年間日夜辛勞經營致シマシテ、本邦百般ノ制度ヲ立テマシタ御坐リマス、故ニ稍ノ内治ノ如キハ其ノ綱領ヲ得ルニ至ツタハ即今日ノ成行デア、サリナガラ外ニ對シマシテハ完全ナル國是ヲ保チ、獨立ノ實ヲ全クル一事ニ至リマシテハ、不幸ニモ未ダ其ノ實効ヲ奏スルニ至リマセヌ、遂ニ今日日本官等ノ身上ニ及ンダ次第御坐リマス、故ニ本官等ハ先進諸氏ノ翼贊計畫セラルル所ニ從ヒマシテ、百般ノ事業ヲ繼續致シマシテ、此ノ從來ノ宿志ヲ棄テズシテ、其ノ目的ヲ達シナケレバナリマセヌ、此ノ目的ヲ達スルニハ一難ニ遭フ毎ニ、勇氣ヲ倍シ、精神ヲ勵シ其ノ事ニ當ラナクテハナリマセヌ、而シテ到底此ノ確乎不拔ノ國是ヲシテ、其ノ功績ヲ實際ニ完カラシムルヲ期スルニ御坐イマス、然ルニ國權ノ完全ナラザルモノハ、舊幕條約ヲ取結ビタル始ニ於キマシテ只釀成スル所ノ積年ノ勢ハ、之ヲ一朝ニ挽回スルコトハ又勢ノ許サバル所ト存シマス、故ニ正當ナル理由ヲ經マシテ其ノ緒ニ就キ、其ノ實ヲ踐マナケレバナリマセヌ、忠誠着實ナル諸君ニ於キマシテ、極メテ同感ノ思ヲ抱カレルコトト、本官ニ於テハ確信致シマス

熟、宇内ノ大勢ヲ洞觀致シマスルニ、列國ノ間ニ立チマシテ其ノ國權ヲ完全ニ伸張スベキモノハ、國富ミ兵強カラザルモノハナイデア、故ニ列國ト對立致シマシテ和親懇篤ヲ完フシテ、國權ヲ一步モ枉グルコトナイ様ニト申セバ、其ノ國權ヲ保護スル才ノ實力ヲ保タナイデアハナリマセヌ、シカノミナリマセヌ現時列國相競フテ武備ヲ張り、漸ク進ンデ眼ヲ東洋諸國ニ注グノ形勢ハ、諸君ニ於テモ洞知セラル、コトト存シマス、宇内ノ大勢斯ノ如キノ傾向ニ於キマシテハ、一日モ武備ヲ擴張スベキヲ緩漫ニ附スル譯ニハ參リマセヌト存シマス、且又列國ト交際ヲ爲サントスルニハ、其ノ仲間入ヲ致サナクテハナラヌ、其ノ仲間入ヲ致スニハ、共ニ權利ヲ保全致サナクテハナラヌ、

權利ヲ保全致スニハ、列國ト均一ノ義務ヲ負擔セナクテハナリマセヌ、其ノ義務ハ如何様ノモノデア、カト申セバ、即國是ノ一定ノ所ニ從ツテ百般ノ制度ヲ整ヘ、單ニ國家ニ對スル義務ノミナリマセヌ、列國ノ尊敬ヲ受ケ、且威信ヲ繋グニ必要ノ義務デア、然ラバ我國ニ於キマシテ此ノ國是ヲ完全ナラシムルニハ、義務ヲ履踐スルハ勿論デアツテ、又此ノ國權ヲ保護スルニ於キマシテモ、實力ヲ養成致サナクテハナリマセヌ、而シテ緩急機ニ應ジ、其ノ措置ノ宜シカラントヲ爲スハ當然ノコトト、存シマス、抑本會開會アツテ以來、殆ト數句ヲ御坐リマスハ句ニ至リマス、議ヲ開ク已ニ數十回ニ及ビマシテ、此ノ間諸君ノ勵精刻苦議事モ又大ニ其ノ歩ヲ進メタ御坐リマスガ、大凡諸君ノ平素懷カル所ノ政治上ノ意見ハ、概ネ此ノ議場ニ顯ハレタカト存シマス、其ノ中ニ就キマシテ、政費節減ノ一事ニ就キマシテハ最モ諸君ノ意向ナリト思ハレマス

抑此ノ政治ヲ行フニ當リマシテハ、其ノ冗費ヲ省減スルニ就キマシテハ、從來政府ノ計畫スル所デア、御坐リマス、十數年ノ間ノ此ノ經歷ヲ以テ其ノ省減スベキハ已ニ省減シ、尙今日ニ於キマシテモ冗費ニアラザルモノモ節減ヲシテ、事宜ノ許ス限ハ節減致シマシテ御坐リマス、尙此ノ將來ニ於キマシテモ此ノ目的ヲ執ツテ之ヲ達スルコトハ少シモ怠ルコトハ勿論ナイコトト存シマス、去ナガラ前段述べマシタ如ク已ニ一定シタル國是ニ依リマシテ、外ハ我が國權ヲ完全ニ伸張ナラシムルコトニ努メ、内ハ開明ノ軌轍ヲ履ミ若々其ノ實ヲ擧グントスルニ際シテハ、此ノ國權ヲ保護スベキ實力ヲ養成スル爲ニ、國民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ、是迄經營シタル必要ノ經費ヲ過度ニ節減スルニ至リマシテハ、本官等ハ此ノ國是ニ反對致シマシテ其ノ方針ヲ障害セラハ實ニ痛嘆慨惜ニ堪ヘザル次第御坐リマス

惜不幸ニモ豫算修正案ニ就キマシテハ、諸君多數ノ贊同ニ依リマシテ、遂ニ此ノ確定議ニ至リマシタ時ハ、其ノ政費ヲ以テ政治上活動ヲ爲スコトハ到底爲シ得ベカラザルコトト、存シマス、此ノ理由ニ就キマシテハ大藏大臣ヨリ意見ヲ陳述致シマス、故ニ茲ニ略述致シマス殊ニ憲法上政府ノ同意ヲ求ムベキ費額ニ於キマシテハ、本院ニ於キマシテハ有効ト認ムルコトハ出來マセヌデ御坐リマス、本官ハ更ニ之ヲ論辯セザルヲ得ザルノ次第デア、今吾人等ハ高大ナル聖恩ニ浴シ、立憲治下ノ民ト爲リマシタガ、之ト同時ニ唯政費ヲ節減致シマシテ、此ノ國是ニ反對ヲ致シ、國勢ノ振ハザルヲ致シ、外ハ列國ニ威信ヲ失ヒ、國家ノ長計ヲ誤ルカ如キニ至リマシテハ、政府ハ斷シテ同意ヲ表スルコトハ出來マセヌ、冀クハ諸君ニ於キマシテモ亦國是ノアル所ヲ知了致サレンコトヲ望ミマス、而シテ此ノ國權ノ伸張ヲ審カニシ機會ノ失フベカラザルコトヲ察シ、形勢ノ慮ルベキヲ悟リ、國家ノ爲ニ盡スベキヲ主眼トセラレンコトヲ、本官ニ於キマシテハ希望ニ堪ヘザル次第御坐リマス

○議長（中島信行君） 松方君

○田中正造君（二百七十七番） 今此ノ間ニ於テ少々通信大臣ニ質問ガ御坐リマス

○議長（中島信行君） 一寸お待チナサイ

(成島親一郎君、大臣ノ演説ハ後ノ方デ聽ハナイト申スカラ、席ヲ進メテラ聽エルヤウニナリマセウ)

○議長(中島信行君) 先ツ暫ク靜ニ……

○大藏大臣(伯耆松方正義君) 諸君本官ハ豫算委員查定案ノ豫算會議ノ初ニ當リマシテ、政府ハ同意スルコトガ出來ヌト云フコトヲ申シテ置キマシタ、然ルニ今ヤ議場ノ景況ヲ見マスルニ、不幸ニシテ查定案ハ多數ノ賛成ヲ得デ成立セントスルノ場合ニ臨ミマシタ、是ニ依ツテ總理大臣ノ演説セラレマシタ所ニ就キマシテ、本官一言シテ諸君ノ最後ノ反省ヲ請ヒマスル譯デ御坐リマスル、查定案ハ政府ノ原案ニ對シマシテ總計殆ト八百萬圓ノ節減ヲ加ヘマシタ御坐リマスル、而シテ其ノ過半ハ俸給ニ於テ御坐リマスル、豫算委員ハ官制改革ヲ以テ經費節減ノ第一手段ト珍シマシタ、故ニ現ニ其ノ改正案ヲ起草致シマシテ報告書中ニ掲載シテ御坐リマスル、抑豫算ハ政府ガ次ノ年度ノ歲入額ト歲出額トヲ豫定シマシテ、議會ノ協賛ヲ經テ財務ノ確實ヲ期スルモノデアリマシテ、政府ハ其ノ調製及執行ノ責任ヲ擔ヒマスル譯デ御坐リマスル、議會ハ又監督者ノ位置ニ立モノデ御坐リマセウ、然ルヲ直チニ官制ニ立入り其ノ官制ヲ立ルガ如キハ之ヲ議會正當ノ職分ト申シマセウカ、又穩當ノ處置ト爲スコトヲ得マスルデ御坐リマセウカ、查定案ハ又現行ノ法律ニ抵觸シマスルモノ少シトシマセウ

第一貴族院、衆議院議長ノ俸給及整理公債募集金ヲ、一般會計ニ組入レ又ハ備荒儲蓄補助及預金利子ヲ特別會計ニ移ス等ニテ、是等ハ議決ヲ經マスルモ其ノ根本タル法律ノ改正ナキ以上ハ當然無効タルコトハ申ス迄モナイコトト存ジマス、查定案ニ依リマシテ俸給節減ノ程度ヲ通觀シマスルニ、陸海軍人ノ俸給ニモ減削ヲ加ヘシノミナラズ、他ノ各省ニ致シマシテモ總額ノ三割以上ヲ減シテ御坐リマスル、而シテ官制改正案ナルモノニ依リテ現在官吏ノ俸給ヲ改メント致シマスレバ、四割、五割又ハ六割ヲ減セザルヲ得ヌデ御坐リマスル、何ニシテモ是ガ急激ノ改正デナイト申サレマセウカ、俸給ニ就キマシテ……イヤ俸給ニ次イテ多額ノ減削ヲ受ケタル廳費ノ類ハ、自ラ人員ノ多少事務ノ繁閑等ニ相伴フモノニシテ、急激ニ人員ヲ減シ事務ヲ廢スル能ハザル以上ハ、廳費モ又查定案ノ如キ減削ヲ爲スコト能ハザルハ論ヲ待タヌ譯デ御坐リマスル、然リト雖モ冗費ヲ省クハ政府ノ將ニ努ムル所デ御坐リマシテ、減シテ事ニ技倆ナキ限ハ努メテ諸君ノ議決ニ賛同スルコトハ躊躇ハ致シマセズト雖モ今日ニ至リマシテ諸君ノ議決セラル、所ノ實蹟ニ就イテ見マスルニ、廢除削減其ノ度ニ過ギ、又其ノ道ヲ誤ルモノアルヲ以テ賛同スルコトハ出來マセヌデ御坐リマス、況ンヤ二十四年度ノ開始モ目前ニ迫リマシテ議會ノ意思ヲ斟酌シテ、充分ニ調査ヲ爲スニ必要ナル時日ナキハ明白ナコトデ御坐リマセウ

諸君本年ノ議會ハ立憲政治ノ東洋ニ行ハレマスル第一歩デ御坐リマセウ、議會開設ノ結果如何ハ、大ニ我ガ帝國ノ名譽ニ關係ヲ有シマセウ、政府ハ諸君

ノ日夜勉勵適當着實ナル協賛ヲ得テ、完美ノ成績ヲ收メンコトヲ希望致シマシタ御坐リマス、若シヤ萬々一不都合ナ議案ガ成立致シマスル場ニ至リマシテハ政府ハ已ヲ得ズ憲法ノ命ズル所ニ依リマシテ、其ノ不同意ヲ表明致シ、併セテ其ノ意思ヲ貫徹スルガ爲ニ、適當ノ處分ヲ取ラザルコトヲ得マセヌデ御坐リマスル

○杉田定一君(二十三番) 議長
〔田中正造君私ハ只今ノ總理大臣ノ演説ニ就キマシテ、お答ヘ申上ゲタイト存ジマスカラ、一ツ是非お答ヘ申上ゲナクテハナリマセウ〕

○杉田定一君(二十三番) 私ハ少々……
〔田中正造君ツレニ今日ハ遞信大臣ガ出テ居リマス、私ハ遞信大臣ニ質問シタイコトガアルカラ〕

○議長(中島信行君) 三十三番
〔田中正造君お許シニナリマセウカ〕

○議長(中島信行君) 三十三番
〔杉田定一君演壇ニ登ル〕

○杉田定一君(二十三番) 只今總理大臣ノ御演説ニハ、維新以來此ノ内閣諸公ハ開國ノ……國ヲ開クノ方針ヲ以テ國是ヲ定メラレタル、ツレニ就イテ陛下ノ御聖詔モ煥發セラレ、又先進諸氏ノ意思ニ基キ、百般ノ事業ヲ繼續セラレ、即國是ノ方針ハ確乎不拔トシテ動カザル所ノモノデアアル、此ノ大日本帝國ノ光榮ヲ宇内万邦ノ間ニ輝シ、兵強ク國富マシムルコト云フ御演説デアリマシタ、併シナガラ國家獨立ノ大權ノコトニ至ツテハ、遺憾無キ能ハズト云フ様

ナ語氣ノ御演説デアツタ様ニ考ヘマスルデ御坐リマス、又其ノ御演説中ニ今ヤ宇内萬國ハ眼ヲ東洋ノ形勢ニ注グト云フ御演説ガアリマシタ、先キニ新井章吾氏ガ内閣今日ノ方針ヲ質問セラレタ時ニ、海陸ノ大臣、外務ノ大臣、各其ノ方針ヲ述べラレマシタガ、併シナガラ陸軍大臣ニ於テハ攻勢或ハ守勢ハ臨機應變ニセラレルト云フ御演説デアツテ、甚ダ簡短ナル所ノ演説デアツタ、其ノ際私ハ東洋政略ヲ質問致シタイト思ツタガ、其ノ節ハ出來マセナヌデアリマシタガ、只今東洋政略ニ付イテハなんデアリマス、此ノ東洋ノコトニ就イテハ早晚隨分ゾリモ、東洋ノ問題ハ隨分紛紜ガ起リサウニ、今日宇内ノ形勢ヲ見マスルト、思ハレマス、所デ日本ノ内閣ノ方針國是ト云フモノハ、退イテ我ガ日本ノ此ノ蜻蛉洲ノ一孤島ニ蟄居シテ、東洋ノ問題ニ關係スルト云フ様ナ考ヘハアルモノカ無イモノカト云フコトノ……東洋ノ問題ニ進ンデ關係ヲシ、或ハ還ニ盟主トデモナツテ周旋シタイト云フ考ヘヲ有ツテ居ラレルモノカ、居ラレナイカト云フ説明ヲ願ヒタイ
ツレカラ此ノ海陸軍ノコトニ付キマシテ、最ウ一ツ御説明ヲ願ヒタイコトガアリマス、維新以來段々此ノ廢藩置縣、或ハ徵兵ノ法ヲ定メ、其ノ他色々變

革ガアツテ、此ノ陸軍ニ至ツテハ明治十五年ニ聖詔ヲ發シテ、師團擴張ノコトニ相成リマシタ、實ニ今日ニ至リマシテハ戰時ニ二十一萬程ノ兵ガ出來ル、なんデアリマスツレデ其ノ此ノ陸軍ノ師團擴張ノ其ノ邊ニ至リマシテハ、大分改革ガ出來テアルカノ様ニ思ヒマス、併シナカラ海岸防禦ノ點ニ至ルト云フト、……國防上ノコトニ至ルト云フト、聞クニ東京灣……此ノ東京ノ關門タル砲臺ハ、明治六十二年デナクテハ竣工ガ出來ヌ有様デアル、其ノ他紀淡海峽、或ハ下ノ關ノ砲臺ノ如キハ未ダ着手ノ途中ニアルモノデアル、斯ノ如ク今日宇内万国ノなんスルト云フ（差止メテ願ヒマスト呼ブモノアリ）默ツテオイデナサイ、批評スルコトガアルナラ本員ガ説明ヲ請フタ後ニ於テ、私ノ質問ガ惡クレバ其ノ後更ラニ成サルガ宜シイト思フ……マア其ノ様ノコトデ國防上ノコトハ甚タ疎カデアル、我輩熟考ヘルニ、今ノ内閣諸公ハ開國ノ方策ヲ執ルト言ハレルケレドモ、開國ノ國是ヲ執ルト云フニハ、或ハ反對シテ居ナイカ、何ゼカト云フニ、宇内列邦ノ間ニ日本ノ光榮ヲ輝カスト云フニ、此ノ國防ハ最肝要デアル、然ルニ只師團ノ擴張ハ二十萬ノ兵ヲ増シテ満足ハ出來ナイ、國防ハ大事デアル、其ノコトニ至ツテハ疎カナルハ如何ナ次第デアルカ、或ハ大臣曰ク財源ガ……經費ガナイカラ行カヌト云フカモ知レヌガ、併シナガラ陸軍ノ經費ハ維新以來二億二千萬餘モ金ガ出テ居ル、其ノ中非常費モアル、非常費モアルガ、隨分我カ國力ニ對シテハ莫大ナ金ガ出テ居ル、其ノ外行政上ノ金ハ隨分國力不相應ノ金ガ出テ居ル、ツレニ今日宇内列邦ノ間ニ國是ヲ擴張シ、光榮ヲ輝カスニ肝腎ナル國防上ニ疎カナルハ如何ナ次第デアル、此ノ如ク明治六十二年迄ニ竣工スルト云フていたらくハ如何ナ次第デアルカ甚タ相分ラヌ、又我輩考ヘルニハ今日開國ノ國是ヲ執ルト云ハレルケレドモ、維新以來今日ノ兵備ヲ觀レバ、明治政府ハ三千餘萬ノ人民ノ中ニ籠城スル兵備ノ立方デ、宇内列邦ニ日本ノ獨立ノ光榮ヲ輝カス兵備ノ立方デハナイデハナイカト我輩ハ考ヘル、又此ノ外交ノコトニ至ツテハ我輩實ニ説明ヲ請ハネバナラナイ、今日ノ海軍ハ……維新以來海軍ニ費ス所ノ費用ハ、九千何万カ日本ノ金ガ費ヘテ居ル、願レバ舊幕ノ末路ニ當ツテ横須賀ノ造船所デ出來、又各藩カラ獻上シタ軍艦ハ何艘モアル、實ニ數十艘モアル、舊幕ノ末路デサハ然ウアツタ、其ノ時トハ今日ハ製造ガ違フト雖モ、舊幕ノ末路ニ於テさい其ノ位アツタ、然ルニ今日九千餘萬ノ金ヲ費ヤシテ軍艦ヲ製造シタノハ何艘アリマス、僅二十五艘デアル、是ハどうモ如何ナ次第デアルカ、是モ金ガ足ラヌデ仕方ガナイノカ、人民ガ金ヲ出サナイカラトハ言フマア、實ニ舊幕ノ末路ヨリ劣ツタ譯デアル、且幕府ハ鎖國ノ舊幕、今ハ自稱セラル、所ノ開國ノ政策ヲ主張スル政府ニ於テ、斯ノ如キ緩漫ナルコトハ如何ナ次第デアルカ、實ニ是モ今日中外ニ國威ヲ宣揚スル主意ニ戾ルト我輩考ヘテ居ル、此ノ邊ノコトハ如何ナ次第デアルカ、我輩等議員ニ於テ徒ニ政費ヲ節減シ、一途ニ民力ヲ休養ヲ謀ル主義デナイ、固ヨリ政費ヲ節減シ民力ヲ休養シナケレバナラヌ、併シナガラ今日海陸軍ノコトニ至

ツテハ、不完全ナ所ハ完全ニシ擴張スベキハ擴張シナケレバナラヌ、併シナガラ今年ノコトニ於テハどうシテモ政費節減地租輕減ハ輿論ノ一大問題デア、政費節減地租輕減ノ一問題ヲ果シ、然ウシテ來年ノ議會ニ至リ、十分海陸軍及財務ヲ取調ベテ、擴張スベキハ擴張シ、廢スベキハ廢ス精神デアルノデアリマス、徒ラニ政費ヲ節減シ行政機關ヲ滯滞セシムルト云フ精神デハ固ヨリナイ、又固ヨリ我々ハ大ニ進シテ國ヲ開ク精神デアル

ツレカラ又最ウ一ツ外交上ノコトニ至ツテハ、甚タ開國ト云フ方針デナイ、始終鎖國ノ有様デアル、今日外交ノ方針ヲ考ヘテ見レバ、日本カラ外國ニ行ク所ノなんト云フモノハ、大抵或ハ政府ノ官吏或ハ華族書生商賣人……此ノ商賣人ハ御用達ノ商人デアル、然ウ云フ金ヲ使ヒニ出ルト云フ人間ヲ出スガ、併シナガラ儲テ歸ルト云フ人間ハなんシナイ、所ガ是迄ノ外交ノ方針ト云フモノハ舞踏政策……おべつか……彼レノ甘心ヲ買フト云フ虛飾政策デ、進ンデ實益ヲ得テ歸ルト云フハ見受ケヌ、進ンデ万里ノ波濤ヲ越テ開拓スルトカ、實益利益ヲ取ルト云フハ一向ニ無イ様デアル、是等ハ開國ノ主義ニ戾ル様ニ思ハレル、どうシテモ今日ハ進ンテ區々タル蜻蜒湖ニ留居セズ、進ンデ外國ニ移住ナリ殖民ナリスルガイ、彼ヨリ實益ヲ取ツテ來キバ行ント考ヘル、所ガ外交ノ方針ト云フモノハ虛飾ニ馳ツテ實益ガナイ様ニ考ヘル、外交ノ方針國是ニ對シテ如何ナモノデアル、品ヲ良クスルト云フ話シテ……日本ハ人品ガ好イ迄ニ憔悴シテ如何ナ成果ニナルカ知レヌト云フ譯デアル、此ノ邊ハ大ニ戾ルト私ハ考ヘル、總理大臣ハ國是ハ確乎不拔ニ立ツテ居ル、其ノ國是ニ就イテ進デ居ルト云ハレル、ケレドモ私ハはつきり分ラヌ、而シテ此ノ海陸軍ノコトナリ、東洋政略ノコトナリ、又今日外交ノ方針ノコトナリ、其ノ邊ノコトニ就キマシテハ大体ノ説明ヲ仰ギタイ、我々ハ其ノ精神ニ於テ翼賛スベキ所モ又大ニ反對セニヤナラヌコトガアルト考ヘマス、どうか是ハ一ツ親切ニ御説明アラント希望致シマス

○井上角五郎君（八十八番） 議長

○議長（中島信行君） 鈴木昌司君

○鈴木昌司君（百八十二番） 簡單デスカラ此處デ

○議長（中島信行君） 此方ヘ

（鈴木昌司君演壇ニ登ル）

○鈴木昌司君（百八十二番） 私ハ諸君ニ御相談ヲ致シタイコトデアリマスガ、只今總理大臣ノ演說ガアリマシタ、ケレドモ一向私共ノ所ニハ聽ヘマセヌノデアリマス、此ノ處ニ近間ノ諸君ハ御不審ガアツテ、御質問等ノコトモアリマセウ、ケレドモ能ク我々ニハ質問致ス……致スト云フ所ノ筆記ヲ見マシテ、共ニ質問スル場合ニ至ツテ質問致シタイト思フ、ツレデ今仄カニ聽キマシタ所デハ、内外政務ノ方針ト云フ様ナコトモ聽キマシタ又六十七條ノ解釋ト云フ様ナコトモ聽キマシタガ、此ノ解釋上ハ即査定案ヲ議決スルト與ニ我々ノ信シテ動カザルモノデアツテ、只今總理大臣ノ演說ヲ聽イテ、我々ハ之

ニ對シテ質問スルコトモ何モナシ、即法律ノ解釋——憲法ノ解釋ト云フモノハ、即此ノ豫算ヲ決定スルト共ニ決スルモノデアル、併シナガラ内外ノ政務ト云フコトニ就イテハ能ク、總理大臣ノ演說即筆記ヲ見マシテ、質問スル場合ガアレバ又他日——明日ナリ出席スル様ニ致シテ、此ノ質問ノ要點ヲ得タイト思ハマス、故ニ私ハ只今ハ直チニ此ノ豫算案ノコトニ移リタイト考ヘマス、是丈之ヲ諸君ニ御相談致スモノデ御坐リマス

○岩崎萬次郎君(百二十一番) 議長

○議長(中島信行君) 百二十一番演壇へ……

○内閣總理大臣(伯爵山縣有朋君) 議長

(山縣内閣總理大臣演壇ニ登ル)

○内閣總理大臣(伯爵山縣有朋君) 只今杉田定一君ノ……問題ニ關スルコトハ御答ハシマセヌ、又海軍ノコトノ御尋ガアリマシタガ、コレハ其ノ手續ヲ經テ、御質問ニナツタラ宜シイト思ヒマス

(岩崎萬次郎君演壇ニ登ル)

○岩崎萬次郎君(百二十一番) 私ハ今日ハ幸ニ内閣諸公ガ御臨席ニナリマシテ、我が議會ニ向ツテ懇篤ナル御希望ト申シテ宜イカ、或ハ何ト申シテ宜シイカ、御親切ニモ能ク御説キニナリマシタ、實ニ感佩スル所ガ御坐イマス、ソレ故ニ我モ又大臣諸公ニ向ツテ、一ツノ希望ヲ述ベヤウト思ヒマス、只今總理大臣ニ續イテ大藏大臣ガ議會ニ向ツテ述ベル所ノモノハ、我が議會ガ今日マデ運ビ來ツタル其ノ上ニ於テ、其ノ政費ヲ何分多分ニ節減サレテハ——八百万圓近ク節減セラレテ——其ノ過半ハ俸給ヲ減ジテ居ル、此ノ俸給ヲ斯ノ如ク節減セラレテハ、如何ニモ行政機關ノ運轉ヲ妨ゲルモノデアル、故ニ結果同意ガ出來ナイト云フ場合ニ至ルデアラウ、又其ノ次第ニ依ツテハ、憲法ノ命ズル所ニ依ツテ、如何ナル處置ニ出ツルカモ知レヌト云フ程ニ、御親切ニ御述ベニナツタコトデ御坐リマス、此ノ點ハ服膺致シマス、八百万圓ハ政府其ノ者カラ取ツテ見タナレバ、或ハ多分デ行政機關ガ……

(井上角五郎君、議長、只今ノ發言ハ何ンデ御坐イマスカ、議會ノ希望ヲ政府ニ述ベルニハ、議長ノ手ヲ經ルトカ何トカシテ、此ノ議會ノ決議デ述ベマス、斯ク一個人ノ希望ヲ述ベルノハ、私ハ言ハハ御ベツク……どうカ御差止ヲ願ヒマス、何ノ爲ニ希望ヲ述ベルカ)

○岩崎萬次郎君(百二十一番) 私ハ私ノ希望ヲ述ベマス(井上角五郎君、議會全體ノ希望ナラ……あなただ一個ノ希望ナラ外デヤツテ……) 議會全體ガ止メト云ヘバ止メマスガ、井上君一箇ノ意見デ止メルト云フコトハ……

○議長(中島信行君) 暫ク靜ニ

(井上角五郎君、是ハ唯時間ヲ潰ス……)

(田中正造君、差支ナイ、我々ハ希望ヲ述ベルニ……やかまシイ……)
○岩崎萬次郎君(百二十一番) 議會全體ガ行ケヌト云フナレバ止メマス、どうカお問ヲ願ヒマス

○工藤行幹君(百八十一番) 斯ノ如キ肝要ノ場合ニハ、議會ニ充分發言ノ權利ヲ與ヘラレルノハ、甚ダ大切ナル場合デアリマスカラ、議員ノ希望ヲ充分ニ述ベルコトヲ希望シマス、決シテ此ノ事ハ停メ可キコトデアリマセヌ

○井上角五郎君(八十八番) 三百人ガ悉ク三百人ノ希望ヲ述ベマスカ

○岩崎萬次郎君(百二十一番) 議長ガ暫ク扣ヘロト申シマスカラ、先ヅ復席ヲシマス

○河野廣中君(百八十四番) 議長

○議長(中島信行君) 百八十四番

○河野廣中君(百八十四番) 百八十四番ハ……

○議長(中島信行君) どちらヘ演壇ニ登ツテ……

(河野廣中君演壇ニ登ル)

○河野廣中君(百八十四番) 私ハ茲ニ出テ述ベル程ノ事デモ何ンデモナイデスガ、先刻鈴木昌司君ガ質疑ノ事ハ、追テシタガ宜カラウ、遠方ノ方ハ聴エモセヌコトデアルカラ——然ウシテ豫算ノ方ニ掛ルガ宜カラウ、ト云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、私モ矢張然ウ云フ考デアリマスレバ、私ノ方ニモ遠方デ能ク聴エマセヌ、ツレカラ總理大臣ノ演說中ぽつ／＼聴エテ居ル所モアリマスガ、全体ニ就イテハ分リマセヌ、私ハ其ノ質疑ノ起シ方ノ一端ヲ舉ゲテ見ルト、既ニ國是ニ戻ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、國是ニ戻ルトハ我々ハナイト云フコトハ明デアリマス、今果シテ箇様ノコトデアリマスレバ

(此ノ時列席ノ大臣退場セラレントス、(田中正造君、議長、遞信大臣ガ歸ルヤウデアリマス)(満場大笑ス))

ツレカラ此ノ憲法ニ——既ニ國是ニ反對シテアルト云フコトモ聴エテ居ル、或ハ憲法ニ違反シテ居ルト云フ言モ聴エテ居リマスカラ、どうモしツカリ分リマセヌガ、決シテ我々ハ然ウデナイノミナラズ、私どもハ決シテ違反シテ居ラヌト斷言シマス、全体ヲ通ジテ見マセヌト、一言ニ言フ舉ゲテ質疑スルコトモ出來ナケレバ、斯ウ云フコトヲ論ジテ見テモ仕方ガナイカラ、早々豫算案ニ移リタイト云フ心デアリマス、此ノ事ヲ一言致シマス

○議長(中島信行君) 是ヨリ本議ニ移リマス、即歲出臨時部ニ移リマス

○政府委員(外務省會計局長室田義文君) 議長

○議長(中島信行君) 室田君

(政府委員室田義文君演壇ニ登ル)

○政府委員(外務省會計局長室田義文君) 此ノ外務省ノ臨時部ノ修繕費ノ本省外構ノ費用ヲ、此ノ査定案デ除イテアリマス、此ノ事ニ就イテ一應述ベテ置キマス、此ノ査定案ノ總說明ノ九頁ノ所ニ出テ居リマス、[第一項修繕費、ニ於テ朝鮮公使館修繕費ヲ加フト雖モ外務本省外構修繕ヲ削除セルニ依リ]コレ／＼ノ高ヲ減ズルト斯ウ成ツテ居ル、此ノ本省外構ノ柵ノ修繕ト申スモ

ノハ最必要デ、どうデモ二十四年ニ於テセナケレバナラヌ、其ノ譯ハ此ノ現在アリマス所ノ外構ノ欄ト云フモノハ、明治八年今ヨリ十七年前ニ造ツタモノデアリマシテ、其ノ後今日迄年々之ヲ修繕シテ參ツタ、其ノ費用ガナカク妙ナイコトデアアルデアリマス、ソレデ是迄其ノ中ノ杭ヲ二本、三本ヲ修繕シツ、アリマシタガ、既ニ其ノ全体ガ腐敗シテ、どうシテモ尙年内ハどうカスウカ持ツニシテモ、明年ニ總ヘテガ保タヌコトニナツテ居ル、ソレデ元十七年前ニ拵ヘマシタ時ニハ、木ノ方ガ便利デアツタカラ木欄ヲ造ツタデアリマス、所ガ今日ニナツテ見マスレバ、中ノ方モ總ヘテ煉瓦ニナツテ居リマス、此ノ後年々修繕スルヤウデハ、經常部ノ費用モ大分要ルコトデアリマスカラ、寧ロ鐵欄ニ換ヘタ方ガ宜シイ、又鐵欄ニシナクテモ現在ノ儘ニ改築スルカ、どツちトモシナケレバナラヌ、今年ノ秋頃ノ風ノ時分ニ、殘ラズ打破ハレルコトニナツテ居リマス、どうカ七百何圓ト云フ格別ノ費用デアリマセヌカラ、之ヲバ原案ノ通りニ存シテ居ルコトニ、諸君ノ御賛成アラシコトヲ希望シマス

ソレカラ此ノ臨時部ノ中ノ朝鮮公使館ノ費用ガ、此ノ臨時部ノ中ニ移ツテ居リマス、是モ只今申シタ通り九項ノ中ニ「朝鮮公使館修繕費」ヲ加フト雖モ外務本省外構修繕ヲ削除セルニ依リ「トアリテ、經常部ノ中カラ除イテ來テ、臨時部ニ加ヘラレタモノト見エマス、丁度之ニ就イテハ確カ九日ノ日デ御坐リマシタ、武富君ノ演說サレマシタ中ニ、朝鮮ノ公使館ハ引用シテ居リマスガ、佛國ノ公使館ノコトニ就イテ斯ウ云フコトヲ云ハレテ御坐リマス、豫算ノ組織上ニ就イテ政府案ノ缺點ノ所ヲ云ヘバ、歳入總額ヲ内閣各大臣ガ分配シテ之ヲ款項ニ分ツ、故ニ此ノ佛ノ公使館トカ、又ハ朝鮮ノ公使館ノ費用ヲ割當テル爲ニ、經常部ニ加ヘテアルノト、元英ノ公使館ノ修繕費ヲ臨時部ニ入レル以上ハ、佛ノモ朝鮮ノモ臨時部ニ加ヘテ宜シイモノデアアルガ、是ハ六十七條既定ノ歳出ニ屬スルモノデアアルガ故ニ、之ニ立籠ツテ即加ヘタノデアアルト云フコトヲ述ベラレマシタ、ソレデ今日朝鮮公使館ヲ臨時部ヨリ、經常部ニ移スト云フコトヲ述ベマスカラ、時去ツテ居リマスガ序ナガラ申シテ置キマス、朝鮮ノ公使館トカ、佛ノ公使館ノ修繕費ヲ、經常部ニ加ヘバナラヌノハ、今朝鮮ノ京城ニ在ル公使館ハ御承知ノ方モアリマセウガ、南山ト云フ山ノ中腹ニ建ツテ居リマス、ソレデ地面ガ屈曲シテ居リマスカラ、隨ツテ水排ケガ甚ダ惡イノデアアツテ、其ノ外構ノ塀ト云フモノハ、煉化デ造リ又ハ土デ造リシヲ、外ヲ白ク塗ツテアルノデアアル、ソレデ水排ケノ惡ルイ爲ニ、年々多少ノ構ニ傷ミヲ生シテ、是迄年々多少ノ費用ヲ掛ケテ修繕シテ居ツタノデ御坐イマス、所ガ此ノ二十四年度ニ於テハ、是迄年々シタ如ク小修繕デハ最早保タヌト云フコトニナツテ、ソコデ例年ヨリハ多クノ費用ヲ掛ケテ、セネバナラヌト云フコトニナツテ居ル、ソコデ多クノ費用ト云フノハ何程カト云フニ、即五百圓以上ニ渉ル、ソコデ經常部ノ方デ五百圓以上ニ渉ルモノハ其ノ場所ヲ舉ゲナケレバナラヌト云フノハ、現在ノ科目表デ分ツテ居リマス、

五百未滿ノモノハ各所修繕中デ、其ノ箇所ヲ舉ゲヌデモ宜シイガ、其ノ代價ガ五百圓以上ニ渉ルモノハ、是非其ノ場所ヲ明記セネバナラヌト云フ定メニナツテ居ルカラ、科目表ハ二十二年ノ六十號ノ會計規則ノ第七條ニ、豫算ノ款項ノ區分ハ大藏大臣ガ定メル、即大藏大臣ガ表ヲ立テ定メタモノデ、各省トモ此ノ表ニ依ツテ豫算ヲ作ラネバナラヌ、之ニ場所ヲ掲ゲネバナラヌト云フカラ即掲ゲタノデ、其ノ修繕ノ性質ハ決シテ臨時ノモノデナイ、即通常ノモノデアリマス、丁度佛ノ公使館デ云フデモ中ノ敷物ヲ替ヘルノガ臨時ニ行カウ答ハナイ、英ノ公使館ヲ臨時ニ加ヘタノハ契約ニ依ツテ、七年目ニ内部ノ總テヲ替ヘナケレバナラヌ、此ノ費目ガ四百磅、此ノ費用金高ニ拘ハラス七年ニ一週ヅ、テ年々ニスベキモノデアイカラ、臨時部ニ加ヘマシタ、朝鮮ノモ年々定メタ經常部ノ中デ支拂得ルノデアアルガ、金高ガ五百圓以上ニ渉ル故ニ、著ルシク其ノ箇所ヲ舉ゲタノハ、即今ノ科目表ニ依ツタノデアアル、若シ之ヲ假リニ臨時部ニシテ置クトキハ、年々多少ノ傷ミガ生ズルカラ年々修繕シナケレバナラヌ、是カラ先キ二年々臨時部ノ中ニ、朝鮮國公使館修繕費ヲ加ヘネバナラヌ結果ヲ生ズル、然ウスルト却ツテ疑議ヲ生ズルヤウニナリマスカラ、此ノ朝鮮國公使館ノ修繕費ハ經常部ニ移ス方ガ相當デアアルと思フ、其處デ臨時部ノ方ニ朝鮮國公使館ヲ増ストイヘドモ、外務省ノ外國ノ七百あんボヲ減シタカラ、格別臨時部ノ増シニナラヌト云フコトヲ朝鮮ノ公使館ハ經常部ニ移シテ、外國ハ二十四年度ニ於テ改作シナケレバナラヌカラ、之ヲ二十四年度ハ原案ノ儘ニ存シテ置クト云フコトヲどうア御熟考ヲ願ヒマス

○議長(中島信行君) 外務省ノ部ニ就イテハ別段發言ノ通告ガアリマセヌ、別ニ通告ガナケレバ決ヲ採リマス

○井上彦左衛門君(二百十五番) 出席議員ノ數ハ

○議長(中島信行君) 定足數ハアル積リデアアル——確ニ

○堀内忠司君(十一番) 只今外務省ノ部ヲ決フお採リニナリマスカ、——是

ハ一ツデ宜シウ御坐リマスガ、あゝハ八省トモ一度ニ其ノ決ヲ採ルコトニシ

タイ、ソレデ政府委員ガ辯明スルコトガアレバ一遍ニ辯ジテ、一度ニあゝハ

決ヲ採ルコトニシタイト云フ動議ヲ出シマス、ソレ故ニ餘リ是ニ論議ハアル

マイト思イマス、餘程會議モ迫ツテ居リマスカラ、政府ガ愈々同意シナケレ

バ考ガアリマスカラ

○議長(中島信行君) 此ノ決ヲ採ツタあゝデ……

○堀内忠司君(十一番) 宜シウ御坐イマス

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、此ノ案ハ菅氏ノ修正案ヲ先キニ決シマ

ス、佐々田君ノ修正案ヲ其ノ次ニ決シマス、其ノ次ニ査定案ヲ決シマス——

菅君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(中島信行君) 少數——佐々田氏ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(中島信行君) 少數——査定案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數——査定案ニ決シマス

○堀内忠司君(十二番) 只今内務省ノ所管ニ移ルト思ヒマスガ……

○議長(中島信行君) 大分問題ガハツカシイカラ此處へ來テ……

(堀内忠司君演壇ニ登ル)

○堀内忠司君(十二番) 諸君、是ヨリシテ内務省ノ臨時部ノ議事ニお移リニナルト考ヘマスガ、私ハ之ヲ逡巡省迄一時ニ議シタイト云フ考デアリマス、然ウシテ此ノコトヲ修正等モ出シテ折ニハ、ソレ丈ハ別ニ採ツテ貫フ、之ヲ換ヘテ云ハ別段此ノ査定案ニ就キマシテ、意見モアルマイト思ヒマスカラ、議事ノ撈取ニナラウト思ヒマスカラ、どうカ御賛成アラントラ望ミマス

(此ノ時賛成々々ト呼ブモノアリ)

○議長(中島信行君) 諸君ニ申シマスガ、只今十二番ノ動議ハ大層簡便ニアルゲレドモ、議長ハ一應申シテ置カケレバナラヌコトハ、内務省ノ部ニ於テ修正案ガアリ、又文部省ノ部ニ於テ或ハ差支ガアリヤセヌカト考ヘル、又逡巡省ノ部ニ於テモ修正案ガアリマス云フヤウナ譯デアルカラ、矢張一省々々是迄ノ順序ニ依ツタ方ガ、却ツテ都合ガヨカラウト思ヒマス

(立入奇一君、議長ノお述べノ通り賛成デアリマス)

○議長(中島信行君) ソレカラ十二番ノ説ガアリマスカラ、如何デ御坐リマスカ

○堀内忠司君(十二番) 修正ノアルノハ別ニスル

○議長(中島信行君) 別ニヤツタ方ガ早イ

○堀内忠司君(十二番) ソレデハ取消シマス

○議長(中島信行君) 内務省所管ノ臨時部ノ第一款ヨリ、第十二款ノ第一項迄議題ト致シマス、然ルニ少シク都合ガアリマスル、デ副議長ニ此ノ席ヲ譲リマス

○山田泰造君(二百六十三番) 第一款カラ第四款迄ヲ議題ニシタイト思ヒマス

○議長(中島信行君) ソレデハ一寸宣告ヲ仕直シマス、内務省所管ノ第一款ヨリ第四款ノ十四項迄ハ、最ウ格別修正案モナイノデアルカラ、可決シタモノト認メテ、五款ヨリ先キヲ議題トシマス

(議長中島信行君其ノ席ヲ退キ、副議長津田真道君議長席ニ着ク)

○議長(津田真道君) 本員ガ代リマス

○高津伸次郎君(百七番) 私ハ政府委員ニ少シ質問シタイコトガアル、先日

○高津伸次郎君(百七番) 全院委員會ノ節ニ帝國はてるノ敷地ノコトニ就イテ質問ヲ致シマシタガ、其

ノ節ハ即答ガ出來ヌト云フコトデ、何レ取調ベテお答ニナルト云フコトデ御

坐リマシタガ、今ニお答ガアリマセヌガ、今日御答辯ヲ願ヒマス

(政府委員大谷靖君演壇ニ登ル)

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 只今百七番カラノお尋デ御坐イマシ

タガ、其ノ節ニ分ラナイト云フコトヲ申シテ置キマシタ、所ガ分ラナケレバ

取調ヲ願フト云フ丈デ、別段ニ……ソレカラ取調モ致シマシタ所ガ、是ハ

内務省ニ現今一向關係シテ居リマセヌ、ソレサニ内務省カラハ別段お答ハ出

來マセヌ、此ノ段お斷リ申シテ置キマス

○高津伸次郎君(百七番) ソレデハ今一應伺ヒマス、先キニ臨時建築局デ買

入レタ所ノ帝國はてるノ敷地ハ、何レノ所屬ニナツテ居ルカト云フコトト、

ソレカラ臨時建築局デ買入レタ時日、其ノ買入レタ代價、ソレカラ他ノ所屬

ニナツテ居ルナラバ、いつ他ノ所屬ニ移シタカ、是丈ニ就イテお答ニナルコ

トハ相當ノコトト考ヘマス諸官衙建築費ニ關係ノアルコトデア

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 勿論諸官衙建築費ト云フノハ、臨時

建築局ノ時代ニ買入レタト云フコトデアリマシテ、其ノ後ニ此ノ所管ガ移ツ

テ仕舞ツタサニ、今日現今内務省ノ關係ハアリマセヌ、今日デハナイ、其ノ

時ヨリ其ノ買入レノ當時ヨリ關係ヲ絶チマシテ、ソレデ今日デハ内務省カラ

此ノ取調ノコトニ就イテハお答ガ出來ヌサニ、此ノ段御斷リシテ置キマス

○高津伸次郎君(百七番) 其ノ所屬ガ知レツウナモノ……

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 其ノ時既ニ外務省ニ移リマシタ……

○高津伸次郎君(百七番) 今日モ……

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 内務省ニ關係ガアリマセヌカラ、お

答致シ兼ネル譯デアリマス

○田庭吉君(二百八十三番) 只今議長カラノ宣告ニ、此ノ第四款マデハ別段

ノ動議モ修正説モナイカラ、可決シタモノ、如ク看做シ、第五款以下ヲ議スル

ト云フ御説明ノヤウニ承リマシタガ、果シテ左様デアリマスカ

○議長(津田真道君) 左様……

○田庭吉君(二百八十三番) 可決シタト云フノハ何ニ……

○議長(津田真道君) 原案ハ可決シタ積デ……

○田庭吉君(二百八十三番) ソレハどう……議事ヲ經タノデアリマスカ、議

事ヲ經ズニ……査定案ト原案トハ違ヒマス

○議長(津田真道君) 何處ガ違ヒマス

○田庭吉君(二百八十三番) 併シナガラ是ハ大体合セテ審議ニ附セラレルモ

ノデハナイカ知ラヌト思フ

○議長(津田真道君) 御異論ガアレバ然ウシナケレバナラヌガ、其ノ當時異

論ガナカツタカラ、可決シマシタ

○立入奇一君(百七十四番) 私モ只今何番デアリマシタカ述べラレタ通り、

他ニ修正説ガナイニシテモ、査定案ト云フモノヲ……決ヲ採ノガ當然デア

ウト思フ……

○江橋厚君(九十三番) 内務省ノ臨時費第一款ノコトニ就キマシテ、私ヨリ

修正ノ説ヲ出シテアル管デアリマス、今日出シテ……

○(會稱書記官長) ツレハ未ダ印刷ガ出來マセヌ、私ノ失策ト云フヤウデア
リマスケレドモ……

○江橋厚君(九十三番) 只今出シタバカリデアリマスカラ、印刷ノ出來ナイ
ノハ御尤デアリマス

○議長(津田眞道君) ツレデハ其ノ趣旨ヲ御辯明ニ……

○江橋厚君(九十三番) 印刷ノ出來ルマデ後廻シニ願ヒタイト思フ、成ルベ
クハ私ノ出シタ理由書ヲ諸君ニ一應御一覽ヲ願ヒタイト思フ

(植木枝盛君、遲キ罪ナリトイフ)

○議長(津田眞道君) 大意ヲ御辯明ニ……

(江橋厚君演壇ニ登ル)

○江橋厚君(九十三番) 私ガ此處デ鄙見ヲ述ベマシテ諸君ノ清聽ヲ汚シ、諸
君ニ御相談ヲ請ハウトスルモノハ外ノコトデハ御坐リマセヌ、即北海道炭礦
鐵道會社特別保護金ノ廢止ノ一條デ御坐リマスル、其ノ之ヲ廢スルニ當リマ
シテハ、保護其ノモノト云フ一條ニ就イテ辯明ヲ致シマスヨリハ、將來ノ歷
史ニ就イテ多少之ヲ述ベナケレバナリマセヌ、又之ヲ述ベマスルニハ即保護
ヲ廢スト云フ……イヤ將來ト云フノハ既往デアリマシタ、是ハ取消……既往
ノ歴史ヲ述ブルコトガ餘程必要デアリマス、詰リ其ノ之ヲ廢シマスルノハ既
往ノ歴史ヨリシテ廢シ得ベキモノデアルト云フ意見デ御坐リマスル、抑幌内
ノ鐵道ト申シマスルモノハ、舊開拓使ガ政府起業基金ヲ以テ明治八年ニ測量
ヲ始メ、明治二十一年ノ十一月ニ至ツテ、全工事ノ竣工ヲ奏シタモノデア
ル、然ルモ明治二十二年ノ十一月ニ至リマシテ、諸君モ御承知ナル炭礦鐵道會社
ト云フモノガ創立ニナリマシタ、其ノ創立者ナルモノハ如何ナル人デア
ルカト云フコトヲ取調ベテ見レバ、我々ガ常ニ耳ニ挾ンデ居ル御用商人、一政府
ノ保護ヲ受ケテ商賣ヲスル所ノ人々デアアル、其ノ人々ヲお話申シマスレバ、
第一ニ澁澤榮一、高島嘉右衛門、堀基、森岡昌純、吉川泰二郎、園田實徳ト
云フヤウナ人々、即十二名ガ創立者トナツテ、此ノ十二名ヨリ政府ニ拂下ケ
テ出願致シタ、政府モ其ノ出願ヲ速ニ容レテ、幌内鐵道ヲ二十四万七千九百
五十圓ト云フモノデ拂下ケテ致シタノデアリマス、然ルニ此ノ鐵道ノ費用
ガ幾ラ掛ツタカト云フコトヲ見ナケレバ、ナラナイ即チ幌内鐵道ヲ拂ヘルニ
政府ガ幾ラノ金ヲ費シテ之ヲ拂ヘタト云フコトヲ取調ヘテ見マスレバ即チ百
九十万七千八百五十圓七十五錢ト云フ巨額ノ金ヲ要シタモノデ御坐リマス殆
んど二百万圓ニ近イ所ノ金ヲ以テ拵ヘ上ケタル此鐵道ヲシテ僅々タル二十四
万圓餘ヲ以テ拂下ケテ致シタ之ヲ拂下ゲタノミナラズ政府ガ此ノ幌内鐵道ヲ
拵ヘルノ目的トシタ所ノ幌内炭山デアリマス此炭山ヲモ又同時ニ併セテ拂下
ケテ致シタ其拂下ノ代價ハ十万四千三百六十八圓デアアル而シテ此ノ政府ガ炭
山ニ向ツテ費シタ所ノ金ハいくらデアアルカト取調ベテ見マスレバ三十八万三
千六百四十八圓三十二錢六厘ト云フ巨額ノ金ヲ費シテ居ル斯ル澤山ナル――

巨額ナル金ヲ費シタ鐵道若シクハ炭山ヲシテ、僅三十万圓足ラズノ金ヲ以テ
拂下ルト云フ一段ニ至ツテハ、實ニ我々ハ驚クベク怪シムベキ所デアアラウ
ト信シテ居ル、何故ニ政府ガ數十年ノ刻苦經營ニ百万圓以上ノ巨額ヲ費シタ
ル炭山鐵道ニシテ、又之ヲ開設シタル目的如何ヲ尋ネマスレバ、彼ノ北海道
ハ沃野ノ地デアアル、須ラク開拓シナケレバナラヌ、又人民ヲ移住セシメテ物
産ヲ繁殖セシメナケレバナラナイト云フ目的ヲ以テ、此ノ鐵道ヲ拵タモノデ
アル、然ルヲ一朝ニシテ此ノ目的ヲ變換シ、僅々タル金ヲ以テ彼等御用商人
ト云フベキ人々ニ拂下ケタト云フモノハ、甚ダ我々ガ千思万考スルモ解スル
コトガ出來ナイ、ツレハ暫指イタトシテモ、此ノ上ニ又政府ガ如何ナル處置
ヲシタカ、數百万圓ヲ費シタル鐵道ヤ炭山ヲシテ、僅二十三十万圓ノ金ヲ以テ
拂下ゲタルノミナラズ、政府ガ炭礦鐵道會社ノ資本金五百萬圓ニ對シテハ、
又特別保護ヲ與ヘタ、此ノ五百萬圓ニ對シテ營業ノ開始前ニ五分ノ利ヲ下付
シ營業ヲ始メテ後若シ純益金ガ五分ニ上ラヌ場合ニ當ツテハ、五分丈ノ不
足補給ヲナスト云フコトヲ約束セラレタノデアアル、何ント如何デ御坐リマセ
ウカ、前ニハ巨額ノ金ヲ費シタ鐵道炭山ヲシテカラニ、僅々タル金ヲ以テ賣
渡シ、加之其ノ會社ニ向ツテ又特別ノ保護ヲ與フルト云フ一段ニ至ツテハ、我
々ハ實ニ絶叫シナケレバナラナイ、而シテ此ノ炭山ノ鐵道トノ拂下ゲヲ受ケ
タ爲ニ、炭礦鐵道會社ガ幾何ノ利益ヲ受ケテアルカト云フコトヲ取調ベテ見
レバ、即百九十三萬九千八百八十一圓七錢六厘ト云フ利益ヲ得テ居ルノデア
ル、斯カル巨額ノ利益ヲ受ケタルニモ拘ラズ、尙重ネテ特別ノ保護ヲ與ヘタ
ノ一段ハ、實ニ驚キ入ツタル仕末デアアル、政府ガ金錢他物ヲ使用スルコトハ
恰度芥ヲ路傍河川ニ投棄スルト一般、又小兒ガ金銀貨ノ貴重ナルト云フコト
ヲ知ラズシテ投棄ラシ、之ヲ顧ミナイト、殆ト異ナルコトハアルマイト、思
ヒマス、如何ニ政府ガ自己自ラガ勞働ヲシ、辛苦ヲシテ得タル金デナイトハ云
ヒナガラ、此ノ貴重ナル貨物ヲ取扱フコト、難販ト云ハウカ、粗末ト云ハウ
カ、本員ハ實ニ驚入ツタルコトデアアラウト信ズル

元來政府ガ保護ヲスルト云フ目的デアアル、保護ト云フ事柄ニ就イテ云ヘバ、
何事業デモ何ノ事柄デモ、政府ハ保護ヲシナケレバナラヌト云フ話デハナイ、
保護ヲスルノハ人其ノ者ニ向ツテ保護ヲスルノデナイ、事業其ノモノニ向ツ
テ保護ヲスルノデアアル、一ツノ事業ヲ起スニ當ツテ、政府ノ保護ヲ受ケナケ
レバ其ノ事業ノ發達ヲ望ムコトガ出來ナイ、其ノ事業ノ竣工ヲ見ルトハ出
來ナイ、又竣工ヲ望ミ其ノ事業ノ發達ヲ望ムト同時ニ、世ノ中ヲ利シ又多數
ノ人々ノ利益ニナルト云フ事柄ニ就イテシナケレバ、徒ニ保護ヲスベキモノ
デナイノデアアル、然ルヲ政府ガ此ノ炭礦會社ニ向ツテ保護ヲシタノハ、果シ
テ此ノ特別保護ヲ致サナケレバナラナイト云フ事情ガ御坐イマセウカ、私ハ
斷ジテ云フ、斯ル會社ヘ向ツテ此ノ保護ヲ出サナクツテモ宜イト云フコトヲ
斷言スル、何ントナレバ會社ハ既ニ百九十万圓餘ノ保護ヲ受ケテ居ルデハナ
イカ、此ノ保護ヲ受ケタ上ニ、又金子デ特別保護ヲ受ケル一段ニ至ツテハ、

濫惠デアル即濫ニ惠ムコトデアツテ、保護ノ精神ニ反クト云フコトノ爲ニ二十四年度ノ臨時部第一款第七項ノ二十一萬五千餘圓ト云フモノハ、速ニ削除スル様ニ致シタイト云フ考デアリマス諸君幸ニ此ノ說ニ御賛同下サル様ニ願ヒタイ

○立入奇一君(百七十四番) 質問致シタイ、只今ノ事ハ大抵分リマシタガ、此ノ北海道ニモ會社ハ幾ラモアル、此ノ會社ノ中デ炭礦鐵道丈ノ保護ヲ止メルト云フニハ、他ニモ關係ガアルノ御坐リマスガ、他ノ會社ハ特別補助ヲ與ヘナケレバナラナイガ、此ノ會社丈ハ獨先刻述ベノ如ク、保護ハ要ラナイト云フコトカ、ソコヲ御調査ノ上デお述べニナツタノデアリマスカ

○江橋厚君(九十三番) 百七十四番ニ答ヘ致シマス、此ノ炭礦會社ノ保護ヲ廢スト云フナレバ、他ニモ山陽鐵道、九州鐵道ノ如キモ即保護ヲ受ケテ居ルカラ、之ヲモ廢除スベキデハナイカ、斯ウ云フお疑デ御坐リマスガ、彼ノ山陽鐵道會社ヤ九州鐵道會社ノ如キトハ……

○立入奇一君(百七十四番) 私ノお尋ハツレトハ違ツテ、北海道ニ就イテノ工業上ノ政策デ、他ノハ削ラズシテ北海道炭礦丈削ルト云フ趣意デアルカト云フツレデス、其ノ他ノ九州鐵道ヤ、山陽鐵道ノコトハ要リマセヌ

○江橋厚君(九十三番) ツレデ只今申述べマシタル通り、炭礦鐵道會社ニ百九十九萬圓餘ノ保護ヲシテアルノデアル、此ノ保護シタ上ニ又金子デ保護ヲスル道理ガナイカラ、廢スト云フ譯デ御坐リマス

○高木正年君(百十番) 賛成ノ發言ヲ致シタイガ、お許ニナレバ演壇ニ參リマスガ

○議長(津田眞道君) 宜シイ、百十番演壇へ……

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百十番) 私ハ敢テ感情ノ如何ニ依リマシテ、江橋君ノ說ヲ賛成ヲ致シマス次第デハ御坐リマセヌガ、如何ニモ此ノ會社ト云フモノハ、實際ノ上カラ二重デアルト云フ點カラシテ、江橋君ノ說ニ賛成致スノ御坐リマス、ト申スノハ江橋君カラお述べニナリマシタカラ、手續ノ上ニ就イテハ敢テ再言ハシナイガ、自分ハ尙其ノ說ヲ證據立テお話シマス、政府ガ此ノ事ニ向ツテノ補助ヲ必要ナラズト致シマスノハ、元來此ノ會社ヲ拂下ゲルトキニ、如何ナル事ヲ爲シタカト云フコトヲ尋ネマスル炭礦ノ方ノ工業費ノ總額ハ三十八萬三千六百四十八圓三十二錢六厘デ、鐵道ガ十九萬七千八百五十五圓七十五錢八厘、之ヲ合セルト二百二十九萬四千四百九十九圓〇八錢四厘ト云フ金額ガ掛ツテ居ル、而シテ其ノ拂下ゲル手續ハ如何カト云ヘバ、二ツノ事業即炭山ト鐵道ト、是ヨリシテ年々ニ舉ル所ノ金額ガ炭山ノ方ニ於キマシテハ二萬四千七百九十五圓一箇年平均シタ上デ收益ガアル、此ノ事業ニ對シテハ一割ノ利ガアルベキモノト見做ス時ハ、即二萬四千七百九十五圓ニ對シテ二十四萬七千五百九十圓ト云フ此ノ價值炭山ハ拂下トナツタ、ツレカラ鐵道ノ方ハ今申ス通り百九十何万ト云フ費用ガ掛ツタノハサテ措イテ、一箇年

ニ……
○岡田眞一郎君(二百十三番) 此ノ動議ハ定規ノ賛成ヲ得テ居ルノデアリマス

○議長(津田眞道君) 左様、賛成ガアツテ出テ居リマス

○高木正年君(百十番) 只今二萬四千ト申シタノハ鐵道ノ方デシタ、炭山ノ方ハ一萬四千〇三十六圓デ、今申ス通り年々一割ノ利ガアルベキモノト見テ、三十餘萬圓デ此ノ鐵道ガ拂下ニナツタノデアル

此ノ拂下モ暫クヨシトシタ所デ、其ノ金額ハ如何ニシテ政府ニ納メルカト云フト、此ノ年々ノ利ヲ十箇年納メレバ、遂ニ是等ノ人ノ自由ニナルト云フコトデアル、是ガ江橋君ノ動議ニ向ツテ……補助スベキモノデナイカラ、是ダケハ引拔クト云フノ說ニ賛成ヲ表シマスル一ノ理由デアアル、而シテ炭礦ノ資本金ハ若干デアアルカ五百萬圓程デス、然ルニ政府ガ之ニ五分ノ利二十五萬圓程ヲ附ケテ遣ルノデアアルカラ、姑ク其ノ利ヲ見積リ元金ヲ算出セラレテ御覽ナサシ、百九十何万ツレニ加ヘルコト三十萬、合セテ二百二十何萬圓……ツレノ一割ノ利ト、五百萬圓ノ五分ノ利即二十五萬圓ノ利ハ、只吳レダモノデアアルカラ、是カラ出ル金ハ分リマセウ……五百萬圓ノ中二百萬圓餘ハ、政府カラ貰ツタ金カラ出ルカラ、發企人ハ其ノ他ノ三百萬圓デシカ募集シナイト云フコトデアアル、シテ見ルト實際ハ三百萬圓ニ對シテ、二十五萬圓ノ補助ヲスルト云フコトニナルノデアアル、既ニ斯ノ如キ過當ナル拂下ヲ爲シ、又ヤ斯ノ如キ補助ヲ爲スガ如キハ、甚ダ喜ブベキ事トハ言ハレナイ、今日ニ至リ尙五分ノ利ヲ以テ補助スル如キハ、如何ニ今日ノ政府デモ爲スベキモノデハナイト思ヒマス、自分ハ徒ニ當時ノ奸商之ヲ拂下ノ人ニ就イテ批難ヲスルノデハ御坐リマセヌ、併シナガラ今日ノ國家ノ經濟ニ於テハ、決シテ不道ナル補助ヲ致スベキモノデナイト云フ、此ノ點ニ就イテハ……い事ハ言ハナイガ、北海道炭礦鐵道會社ノ補助ハ不道理極マルモノデアルト云フ所カラシテ、江橋君ノ說ニ賛成致スノデアリマス

○青樹英二君(五十五番) 只今ノ江橋君ノ說ニ就イテハ私ハ……

○議長(津田眞道君) 五十五番ハどうゾ演壇デ……

(青樹英二君演壇ニ登ル)

○青樹英二君(五十五番) 我ハ今此ノ江橋君ノ動議ニ就イテ聊疑ヲ起シタデアリマス、依ツテ政府委員ニ向ツテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、如何ニモ動議者ノ述べル所ノ如クアツタナラバ、政府ハ抑々不都合ノ補助ヲシタト云ハナケレバナラヌ、然ルニ政府委員ハ之ニ對シテ何等ノ理由ヲ述ベラレマセヌガ、宜シク此ノ拂下ノ事實、及ビ保護ヲ與ヘタ所ノ契約等モアリマセウカラ、其ノ邊ヲ充分承リタイト思ヒマス

○近藤準平君(七十番) 只今五十五番ノ發言モアリマシタガ、此ノ修正說ガ出マシテ政府委員ガ何等ノ辯明ヲモ爲サナイト云フモノハ、無論發議者ノ言フ通りノコトデアルト思ヒマスカラ、別ニ政府委員ニ對シテ殊ニ請求スルノ

必要ハナイト思ヒマス

(政府委員大谷靖君演壇ニ登ル)

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 只今九十三番カラノ勸議ヲ御坐リマシテ、(大聲ニ……)聽エヌ、大聲ヲ願ヒマスト呼ブモノアリ。是ハ先達總理大臣ヨリ演説ガアリマシタル、六十七條ニ關係ノアリマスル事ヲ御坐イマシテ、ソレニ對シテハ別段ニ色々御答辯ハ致シマス、此ノ段ヲ先ヅ以テお斷リ致シマス

(犬養毅君演壇ニ登ル)

○犬養毅君(二百四十四番) 私ハ江橋君ノ此ノ説ニハ、反對ノ意見ヲ以テ居ルモノヲ御坐リマスガ、併シナガラ此ノ炭礦鐵道會社ノ成立ハ、歷史上デ餘程不都合ノコトハ私モ御同感ヲ御坐リマス、故ニ同感ヲ表シマス、元來此ノ……今書類ヲ持ツテ居リマスモ、精シクかつきリシタ金ノ數ハ覺ヘテ居リマスモ、間違ツタカラ御訂正ヲ願ヒマス、全体炭礦鐵道ニ限ラヌ、斯ウ云フ不都合ナコトヲやつテ居ルノハ……元二百萬圓ノモノヲ、二十萬圓ニ賣ツタコトヲ申シマスガ、ソレナレバまだ幸福デ、二十萬圓ト云フ高相場デ政府ガ賣ツタナラバ、今ノ内閣ハ立派ナ賣樣ヲシタト譽メナケレバナラヌガ、最ウ少シク安ク賣ツテ居ル、五十箇年賦カ八十箇年賦ノ利引デ、二萬圓カ三萬圓デ濟ンデ居ル、何ンデモ五十箇年カ八十箇年デアル、二百萬圓ノモノヲ二十萬圓ニ賣ルト世間デハ安イヤウダガ、今ノ政府デハ高賣ト云ハナケレバナラヌ、コレガ二三萬デ濟ンダラ幸福デ、大臣ガ立派ナコトヲヤラレタノデアル、財政上ノ整理ハ斯ノ如ク居イテ居ルカト譽メテ宜シイ、三萬圓ニテ濟ンダラ宜カラウ、今度ハソレヲ品玉ニ使ツテ何會社ヲ起シ、元ノ種デ二三萬圓出シテソレヲ起スト、あべこべニ一年ニ二三萬圓持ツテ行ツテ遣ラナケレバナラヌコトニナル、タビノ斯ウ云フ財政ノ整理ヲ致シマス、位位繼足シテ致スコトカ分ラヌ、二百萬圓ノ炭山ヲ二十萬圓ニ賣リ、今度ハあべこべニ二三萬圓持出シテ居ルカラ、是迄ノ歷史カラ言ヘバ不都合ハ至極不都合デアル、併シナガラ此ノ不都合ト云フノハ獨炭礦鐵道會社ノミデハナイ、政府ノ官有物財產ニ係ルモノハ、皆ナソレデ是迄ヤツタノデアル……一昨年マデニまるデ老人ガ養子ニ世ヲ渡スヤウニ、一々ニ打切ツテザツトめくら打ニ打切ツタノデアル、ソレ故ニ官有物ノ處分ニ就イテハ適當ナリト、我々ガ感服スル處分ガアツタナラバ始メテ發議ノ種デアル、全体皆ナ不都合デアル、玉ニ理ト云フコトガ世ノ中ニアルガ、總ヘテ理デ其ノ中ニ玉ガアツタラ、見附ケモノト言ハナケレバナラヌ、斯ウ云フ不都合ノ歷史ヲ持ツテ居ル故ニ、歷史上カラ云ヘバ我々ハ不同意デアル、併シナガラ斯ウ云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲシテ實際利益ヲシタモノハ、其ノ利益ヲ持ツテ他ニ去ツテ仕舞フタノデアル、ソレカラあべこべデ政府ハコレノ保護ヲシテヤルト補助ガ附イテ、炭礦鐵道會社ノ株ハ先年一時騰貴シテ、段々轉々シテ世ノ中ノ迂遠ノ金持ノ手ニ澤山這入リマシタ、今持ツテ居ルモノハ政府

ガ保護シテ呉レルカラデアル、然ルニ今之ヲ打切ルトとんでもナイ、前ニ利益ヲ受ケタ奴ハ高ミデ見物ヲシテ居ルガ、他ノモノハ損ヲシナケレバナラヌ、我々ハ商賣上、經濟上、信用ヲ守ラナケレバナラヌ、此ノ立法部ニ於テ既ニ契約シテ居ルモノヲ、一々叩破ルトキハ信用ノ破壞デアル、商業上ノ變動ハ二十萬圓ヤ、三十萬圓ニハ決シテ換ヘラレヌ、革命ノ時デサヘそんナコトハ出來ヌ、維新ノ改革ハ革命デハナイ、單ニ改革デアル、事實ハ殆ト革命ト同ジデアル、然ルニ舊幕ノ契約ハ新政府ガ引續イテ居ル、況ヤ議會ガ立ツテ直チニ此ノ契約ヲ叩破リ、利益ハ既ニ他ヘ轉々シテ居ルニ、今日左様ナコトヲ改正シテ、商業上ニ大變動ヲ及ボスハ私ノ執ヲヌ所デアル、併シナガラ歷史上カラ言ヘバ誠ニ不満足デアル、財政ノ整理上其ノ當ヲ得ヌト云フダケハ御同感デアル

(高梨哲四郎君演壇ニ登ル)

○高梨哲四郎君(九十四番) 本員ハ江橋君ト考フ同ジクシテ居ル者デ、即大贊成デ御坐リマス、ソレデ犬養毅君ガ只今述ベマシタコトハ、悉ク荒唐無稽ノ事實ト思ヒマス、何故然ウ云フカト云フト、犬養毅君ガ言ハレルニハ政府ノやつタコトハ皆ナ然ウデアル、どれモ是モ斯ウデアル、養父ガ養子ニ身代ヲ渡ス様ニ、二三年ノ内ニ皆ナ斯ウやつテ仕舞ツタ、ト云フ様ナコトヲ言ハレマシタガ、果シテ然ウ云フコトガ事實デアツテ、其ノ通りニやつタナラバ、片ソ端カラ叩キ直スガ宜シイ、惡ルイコトヲシタナラバ少シモ過ツテ改ムルニ憚ラヌガ宜シイ、併シナガラ犬養毅君モ事實ニ就イテ話ヲセラレタナラバ、北海道炭礦鐵道會社ノヤウナ不始末ノコトヲシタノハ、他ニ幾ツアリマス、皆ナ片端カラ然ウダト云フガ、凡此ノ位ひどいコトハ、事實ニ於テ他ニ例ガ澤山アルマイト思ヒマス、皆ナ斯ウデアルト云フ様ナ空漠ノ議論ヲ以テ、此ノ正當ノ理ニ反スルコトハ出來ヌ、ソレカラ契約ヲ破ルト商業上ニ變動ヲ起スト云ハレタガ、是ハ御尤千萬、併シナガラ此ノ議會ハ我々モ共ニ贊クモ仰ギ奉ル 天皇陛下ノ勅令、若クハ我々ノ生命財產ヲ委託シテアル所ノ法律スラモ、豫算權ノ議定ニ依ツテ之ヲ廢棄セントスルノ議會デアル、其ノ議會ノ一員ガ契約ハ破レナイ、は、あ……勅令ヨリモ法律ヨリモ、保護會社ノ契約ノ方ガ破レナイノデアルカ、私ガ斯ウ云フト何ンダカいやミヲ云フ様ダガ、決シテいやミヲ言フノデハナイ、一体政費ト云フモノハ私なんぞノ考デハ大言カハ知レヌガ、私ヲシテ言フト、お役人様ノ給金ハ少シ位高クテモ安クテモ構ハヌガ、我々前途ノ方針ハ苟モ政治家ト云フ者ノ事務ハ、問題ト爲スベカラザルコトハ爲サズ、爲スベキコトハスルト云フコトニ決斷シテ、少シモ猶豫シナイノニアルト云フ考デアル、シテ見レバ犬養毅君ノ言フ如ク、既ニ北海道炭礦鐵道ノ保護ノコトガ、不正當デアル不始末デアルト云フコトヲ認メタナラバ、當會デ之ヲ決シ、即憲法ノ第六十七條ニ依ツテ政府ノ同意ヲ求ムルニ、政府ハ斯ル事ヲコソ拒マナイデアラウト思ヒマス、ト云フコトハ何百

デアレバ、其ノ鐵道炭山ノ利益ヲ以テ、ソレヲ納メレバ唯取レルコトが出来ル、其ノおまけニ二十何万ト云フ金ヲ補助シ、我々人民ガ其ノ株主ノ人々ニ、何故保護シナケレバナラヌ義務ヲ持ツテ居ルカ、我々ハ未ダ彼ノ會社ノ人々ヨリ、三代相恩ノ義務ガナイデハ御坐リマセヌカ、シテ見レバ斯ウ云フコトコソ政府ニ向テ論議ヲ開イタナラバ、一モ二モナイ話デアル、こんな事ヲ御同様に黙リ込メ、どうモ仕方ガナイ、一遍約束シタモノデアルカラ、向後ハ誠メヤウト云フ様ナ迂闊ノコトヲ居ラレタナラバ、決シテ其ノ弊害ヲ矯メルコトハ出来ナイト信ジマス、ソレ故ニ政府委員ノ言ハレル通り、憲法第六十七條ニ依ツテ、政府ニ向ツテ同意ヲ求メルト云フコトハ別問題トシテ、此ノ議場ニ江橋君ノ意ヲ通過セシムルト云フコトニハ、滿場一員ノ異議モアルマイと思ヒマス、而シテ私ガ政府委員ニ望ム所ハ、炭礦鐵道會社ノ拂下ノ如キ不始末ヲサレタ其ノ時分ニ、私等ノ聞ク所ニ依レバ何某伯爵ト云フ様ナ大臣ノ立派ナ方モ、或ハ株主ノ内ニ混じツテ居タト云フコトヲ聞キマシタカラ、六十七條ニ於テ見解ヲ異ニスルト云フヤウナコトハ別段申シマセヌガ、株主ノ重ナル人々ハどう云フ人々デアルカト云フコトハ、此ノ議案ノ決議ヲ採ル前ニ、政府委員カラ御報道サレテ宜イト存ジマス、且又犬養君ノ株主ハ今違ツテ居ルト云ハレタカ、そんな手ニハ乗ラナイ、少シ位ハ違ツタラウガ、未ダ大株主ハ昔ノ通りデアル、方々ニ賣レテ少シモ今日舊株主ノ手ニナイ、ト云フノハ事實デ御坐リマセヌカラ、斯ウ云フ言葉ヲ以テ瞞著……瞞著ト言ツテハ惡ルカラウガ、斯ウ云フ議論ニハ同意セズ、速ニ我々ノ此ノ案ヲ通過セムコトヲ希望致シマス

○岡田良一郎君(二百十三番) 政府委員ニ御質問致シタイ、先刻政府委員ハ六十七條ニ關スルコトハ説明セスト云ハレマシタガ、此ノ約條ハ如何デアルカ、どう云フ成立デアルカ位ハ、御説明ニナツテ然ルベキコトト考ヘマス、願ハクハ最初ヨリ今日マデノ手續ヲ、詳細ニ御説明ヲ請ヒタイ

(政府委員大谷靖君演壇ニ登ル)

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 只今ノお尋デ御坐リマスガ、北海道ノ保護會社ニ關スル事件ノ取調書ハ、豫ネテ全院委員會ノ時ニ請求ガ御坐リマシテ、ソレカラ取調書ヲ確ニ出シテ置キマシタ、外ニ今日ハ別段ニ書類ヲ持ツテ居リマセヌ、其ノ取調書ノ外ニハ、只今内務省ニ於テ調ヲ致シタコトハ御坐リマセヌカラ、どうかあれニ就イテ、お取調ヲ願ヒタイモノデ御坐リマス……

○岡田良一郎君(二百十三番) 其ノ書類ハ持ツテ居リマスガ、取調ベル暇ガアリマセヌカラ……

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 豫ネテ差出シテ置キマシテ、只今ハ其ノ書類ヲ持合セテ居リマセヌカラ、どうゾソレニ就イテ御承知アラシコトヲ希望シマス

○阿部興人君(二百五十七番) 只今政府委員ハ書類ヲ持合セテ居ナイカラ、

答ヘスト云フコトデアリマシタガ、其ノ書類ハ本員ガ嘗ツテヨリ持ツテ居リマスカラ、只今政府委員ニ渡シマスカラ、ソレニ依ツテお陳ベニナルヤウニ致シタイ

○犬養毅君(二百四十四番) 今高梨君ノ演說デ妙ナ感情ニ訴ヘマシタガ、株主ハ誰々ト云フコトハ直キニ分リマスカラ、政府委員序ニ報告ヲナサイ

○江橋厚君(九十三番) 書類ガ御入要ナラバ、政府委員ニお貸シ申シテモ差支ナイ

○犬養毅君(二百四十四番) ソレカラ最ウ一ツ申シテ置キマス、私ノ意ヲ誤解サレテ居ル、私ノ言フノハ炭礦鐵道會社ハ他ノ者ニ拂下ゲテアツタノヲ、其ノ者カラ今ノ鐵道會社ニ賣ツタノデアル、ソレ故ニ利ヲ得タ者ハ疾ウニ去ツテ居ルト云フノデアル

○魚住逸治君(二百二十四番) 只今犬養君ヨリ株主云々ノ無用ノ言ガアルコトデ御坐リマスガ、反對ノ高梨君ハ之ヲ聽クコトヲ望ムト云フコトデ御坐リマスカラ、旁大イニ我々ノ參考ニナルコトデアリマスカラ、どうか併セテ御報道アラシコトヲ望ミマス

○阿部興人君(二百五十七番) 只今申シテ置イタ書類ガアリマスカラ、書記官デモ誰デモ取りニ御出ナサイ

(此ノ時採決ヲ願ヒマスと呼ビ或ハ株主ノ名ヲ朗讀スベシと呼ビ又ハ無用々々と呼ブモノアリ)

○魚住逸治君(二百二十四番) 此ノ株主ノ事ニ就イテ無用ト云フ者ガアリマスケレドモ、無用デハアリマセヌ、若シ今日ノ株主ガ奇妙シてれつノ人デアツタナラバ、此ノ江橋君ノ動議ノ成立ツヤ成立ヌカニ就イテ、最此ノ事ハ必要ト思ヒマスカラ……

(井上角五郎君、只今ニ至ツテ株主ノ報告ハ無用ト思ヒマス、犬養君ハ株主杯ハ能ク御存シト思ヒマスカラ、旁以テ無用ト思ヒマス)

(犬養毅君、怪レカラヌ私ハ承知シテハ居ラヌ、併シ株主ニ伯爵ガ多イ、其ノ伯爵ノ者ハ政府ニ居ル人多イ)

(井上角五郎君、犬養君ガ怪レカラヌト云フガ間違デアル、物ヲ能ク知ツテ居ル物知リデアル、學者デアルト褒メタノデアリマス(笑聲起ル))

○鹽田與造君(八十二番) 私ハ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス、併シナガラ私モ此ノ事ニ就イテハ江橋君ニ大賛成デアリマス

(此ノ時討論終結ニ賛成々々と呼ブ者數名アリ)

○議長(津田真道君) 討論終結ト云フ動議ニ賛成ガアリマスカラ、之ヲ衆議ニ問ヒマス、討論終結ト認ムル諸君ハ起立

起立者 少數
議長(津田真道君) 少數デアリマス
(此ノ時多數々々と呼ブ者及先キノ宣告ハ分ラヌカラ、最ウ一遍取り

直セト呼ブモノアリ

○議長(津田真道君) ソレデハ念ノ爲ニ……鹽田真造君ヨリ討論終結ノ動議ガ出テ、賛成者ガアリマスカラ之ヲ衆議ニ問ヒマス、討論終結ト認ムルモノハ起立

起立者 少數

○議長(津田真道君) 少數ト認メテ決ヲ採リマス(滿場笑聲湧ク)

○議長(津田真道君) 高津仲次郎君——高木正年君——綾井武夫君……

○綾井武夫君(二百六十四番) 私ハ通告ハシテアリマセヌ

○議長(津田真道君) 内務省ノ部ニ就イテ通告シテアリマセヌ……

○綾井武夫君(二百六十四番) 内務省ノ部ニ就イテ通告ハシマセヌ

○永田定右衛門君(二百三十番) 只今討論終結ハ別ニ異論ガアツテ、之ニ反對スルノデハナイト思ヒマス、只株主ノ名ガ聽キタイト云イ、或ハ又岡田君ガ

政府委員ニ説明ヲ請フタノデ、是ハ政府委員モ我々ニ満足ノ辯明ヲ與ヘラルコトニ致シタイ尙此ノ株主ノコトデアリマスガ、是モ報告サレテモ何モ差

支ナカラウト思ヒマス、別ニ此處デ議論スルコトハアリマセヌカラ速ニ政府委員カラ御説明ニナリタイ

○折田兼至君(三十番) 議長ニ申シマスガ、討論終結ノ如何ニ就イテハ只今議長カラ通告者ヲ呼ンデモ、演説スルモノモナイ、別ニ論ズルモノガナケレ

バ議論ガ盡キテ居ル、議長ニ於テ議論既ニ盡キタリト認メニナツテ然ルベシト思ヒマス

○議長(津田真道君) 只今三十番ノ注意ガアリマシテ、最ウ議論ハ盡キタリト認メマス

(此ノ時政府委員ノ説明ヲ聽キタイト呼ブモノアリ)

(此ノ時政府委員大谷靖君説明スベキモノニ非ズト云フ)

○議長(津田真道君) 然ラバ演壇ニ於テ其ノ事ヲ……

(政府委員大谷靖君演壇ニ登ル)

○政府委員(内務省會計局長大谷靖君) 只今事實ノ説明ト云フコトデ御坐イ

マレタガ、事實ハ此ノ炭礦鐵道ノコトニ就キマシテ、先刻申上ゲマシタ通り憲

法六十七條ニ關係致シテ居ル、デ別段ノ御答辯ハ御坐イマセヌ、所ガ此ノ事

實ノコトハ先達全院委員會ニ書類ヲ出シテ置キマシタ通りデ、外ニお答ヘス

ルコトガ御坐リマセヌ、只今阿部君カラ出シタ書類ハ、是ハ命令書ニ關係シ

タズノコトデ、事實ノ分トハ違フト考ヘマスガ、併シ其ノ事ニ就イテハ今日

別段ニ私カラハ御答辯ヲ申シマセヌ、此ノ事ヲ申シテ置キマス

○阿部與八君(二百五十七番) 只今大谷君ガ述べラレマシタガ、豫算委員會

ノ際ニ豫算委員ガ受取ツテ置キマシタ書類ハ澤山アリマシタガ、此ノ炭礦鐵

道ニ就イテ豫算委員ニ渡シテアツタ書類デ、幸ニ燒殘ツテ居ツタノハ此ノ書

類ノ外何モ受取ツテ居リマセヌ

○橋本久太郎君(九十一番) 既ニ株主ヲ讀上ゲテ吳レト云フコトデ、討論終

結ノ動議ニモ反對者ガアツタノデアリマスガ、其ノ朗讀ヲ望ミマス、餘程之

ニ對シテ疑義ガアリマスカラ、私ハツレヲ望ミマス

○清水榮藏君(二百二十九番) 是ハ説明セヌト云フガ、あれハ豫算委員デお調

ニナツタナラ甚ダお手數デアリマスガ、阿部君カラお調ニナツタモノヲ報道

セラレタイ、ツレガ一番宜イ、其ノ他都合デ只今出タモノヲ政府委員カラ讀

上ゲテモ、或ハ書記ニ朗讀ヲ命ジテモ宜シイ、兎ニ角其ノ願末ヲ御報道ニナツ

タ方ガ宜イト思ヒマス

(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(三十二番) 私ハ此ノ江橋君ノ動議ニ賛成致シテ居ルモノデ

御坐リマス、最早反對モアリマセヌデ表決ニナルカト思ツテ、聊意見ガアツ

テモ述ベマセヌデシタ、然ルニ説明ヲ求メルト云フ諸君ガアツテ、ツレガ爲

ニ先刻ノ討論終結ノ動議ガ成立タヌト云ナラバ、何ゾ拒ムトコロノ政府委員

ノ説明ヲ求メズトモ、江橋君ガ此ノ書類ヲ持ツテ居テ、充分ニ調テ分ツテ居

リマス、然ラバ江橋君ニ質問スレバ分ルコトト思ヒマス、尙先刻來株主云々

ト云フコトデアリマスガ、其ノ當時ニアツタ株主ト今日ノ株主トハ、轉々賣

買シテ人名ガ變ツテ居ルカラト云ツテ、其ノ如何ニ依ツテ不同意ト云フコト

ハナイ、動議者ニ於テモ其ノ精神ハナイト思ヒマス、又中ニハ此ノ事ヲ論ジ

テ置カヌト、後ニ至ツテ大ニ影響スルコトガアルト云フ者モアリマス、高

梨君ガ云ハレタコトハ、其ノ一端ヲ言ハレタノデアアル、ツレデ若シ此ノ株主

ガ變レバ、之ニ反對スルト云フノデハナイ、私ハ此ノ保護會社ノ事業ニ就イ

テハ、其ノ株主ノ變動如何ニ依ツテ同意スルトカ、廢除スルトカ云フコトヲ

此ノ議場デ議論スルハ間違ツテ居ルト思フ、此ノ事業ハ天下ノ公益ヲ爲スベキ

事業デアルカラ、補助スベキモノカ如何ト云フコトヲ以テ同意シナケレバナ

ラヌ、素ヨリ株式會社ハ年々轉々賣買ハ正當デアアル、其ノ時ノ株主ガ違ツテ

居ルカラ、保護スルトカセヌトカ云フコトヲ論スルコトハ間違ツテ居ル、炭

礦鐵道會社ノコトハ先刻江橋君ガ言ハレタ如ク、此ノ沿革ト云フモノガ大ニ

原因ト爲ツタカラ、犬養君ガ妙ナ演説ガアツタガ、私等ハ之ヲ廢スル原因ハ

沿革ト云フノガ趣意デナク、此ノ事業ニ於テハ最早保護ヲ與ヘナクテモ、充

分成立ツコトヲ得ル、得ルト云フノハ計算上ニ於テ見ルコトガ出來ル故デア

ル、尙私ハ一言致シテ置キマス、まだ此ノ場合デハ公言致サレマセヌガ、

此ノ事ヲ直チニ金額デ廢スルト云フコトニ至ツテハ、政府ガ先キニ命令ヲ

出シテ居ルモノデアアルカラ、此ノ命令書ノ取消ヲ致サヌ先キニ於テ、金額

ヲ廢スルト云フコトハ不穩當デアアル、不都合デアルト云フコトハ、現ニ問題

ニナツテ此ノ場ニ聽イテ居ル、又是マデモ段々聞イテ居ルカラ、若シ箇様ノ

コトニナルト大ナル間違デアアル、此ノ憲法六十七條ノ明文ナリ、又ハ七十六

條ノ第二項ヲ見タナラバ、政府ノ義務ニ係ルト云フモノハ……年數ヲ期シ

テ、即政府ガ先キニ約束シテ保護スルト云フコトハ、義務ニ極マツタモノデ

アルト明記シテアル、憲法ニ之ヲ金額デ廢除削減スルトハ、此ノ所デ議決

セ

ス

ル

コ

ト

ハ

シ

テ

ス

サレコトハ憲法ニ明記シテアル、政府ガ同意スルヤ否ヤハ第二ノコトデア
ル、先キニ命令ヲ取消サナケレバ、廢除削減スルコトハナラナイト云フノハ
大ナル間違デアルカラ、一言致シテ置キマス

○安田愴逸君(二百八番) 私ハ討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(津田眞道君) 再ビ討論終結ノ動議ガ出マシタカラ衆議ニ問ヒマス

○近藤準平君(七十番) 是ハ第一款カラどこマデスカ

○議長(津田眞道君) 只今ノ所デハ第一款カラ、第四款ノ終マデ、アリマス

○西洞爲藏君(二百八十四番) 只今御採決ニナル様ニ承リマシタガ、此ノ討
論終結ト云フノハ、江橋君ノ動議ニ對シテノ事柄ト考ヘテ居リマスガ、然ル
ニ第何款カラ何款ト云フ様ナ事柄ニ就イテハ、大ニ繁雜ヲ來サウト思ヒマス
カラ、一言御注意ヲ申シテ置キマス

○議長(津田眞道君) ソレデハ討論終結ノ決ヲ採リマス

○堀内忠司君(十二番) 討論終結ノ動議ヲ採ラズニ、直チニ論旨盡キタリト
認メテ、決ヲ採ランコトヲ望ミマス

○議長(津田眞道君) ソレデハ討論終結ノ認メマセウ、然ル時ハ江橋君ノ修
正説ガ出テ居リマスカラ、ソレダケヲ特別ニ決ヲ採リマス、江橋君ノ修正説
ニ同意ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(津田眞道君) 多數ト認メマス、其ノ他第一款ヨリ第四款ノ終マデハ、
更ニ修正モナク議論モナイト考ヘマスカラ、先キニ議長ガ宣告シタ通り可決
シタモノト認メマス、次ニ五款ヨリ第十二款ノ終マデヲ問題ト致シマス
別ニ議論ガ無ケレバ決ヲ採リマセウ
(異議ナシト云フモノアリ)

○近藤準平君(七十番) 第五款ヨリ第十款マデハ原案ニ賛成……始メテ……

○議長(津田眞道君) 第一ニ佐々田君ノ修正案ノ決ヲ採リマシテ、ソレカラ
次ニ菅君ノ修正案、次ニ査定案ト箇様ノ順序ニ採リマス、佐々田君ノ案ニ同
意ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(津田眞道君) 少數デ御坐リマス菅君ノ案ニ御同意ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(津田眞道君) 少數デ消滅致シマシタ、次ニ査定案ニ就イテ決ヲ採リ
マス、査定案ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(津田眞道君) 多數ニ依ツテ査定案ニ決シマス、次ニハ大藏省ノ部ニ
移リマス、大藏省ノ第一款ヨリ第五款ノ終マデヲ問題ト致シマス……渡邊
君

(政府委員渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(大藏次官渡邊國武君) 大藏省臨時部ハ五款ニ過ギマセヌ、其ノ

中憲法第六十七條ニ關セザル部分ハ僅デアリマスガ、第二款ノ土地臺帳調製
費ハ、コレハ前年カラシテ繼續シテ居ル事業デアリマスガ、或ハ御承知ノ
方モアリマスカ知リマセヌガ、只今此ノ土地臺帳ト云フモノガ甚ダ紊亂シテ
居リマシテ、今日ノ所デハ是ハ畢竟調製ノ目的デ作ル所存デアリマスガ、
先ヅ是デ地券狀モ廢シマスレバ、土地ノ所有モ確マル様ニナツテ居リマス
ラ、少シ減ジテ居リマスガ、少シバカリ減ジテ、惡ルイ紙ナドヲ使ツテ、彼
此又破損シ易イコトニ至リマスレバ、甚ダ遺憾デアリマスカラ、之ニ向ツテハ
どうゾ原案ニ復サレンコトヲ望ミマス、營繕費ハ是ハ横濱ノ覆屋、倉庫ナドニ
要スルノデ、是ハ先達モ税關等ニ就イテ申シタ通り、矢張是ハ他日藏敷トナ
ツテ這入ル皆ナ生産的ノ費用デアリ、又貿易繁榮ノ基ニナル費デアリマス
ラ、是又どうゾ原案ニ向ツテ賛成アラント希望致シマス

○議長(津田眞道君) 鹽田眞造君

○高津仲次郎君(百七番) 百七番ハ修正ノ動議ヲ提出シテ置キマシタ

○鹽田眞造君(八十二番) 私ハ百七番ヲ賛成シテ居リマスカラ、査定案ノ方
ハ拋棄致シマス、百七番ノ説ノ成立ツコトヲ希望シテ居リマスカラ……

○議長(津田眞道君) 宜シウ御坐イマス……百七番

(高津仲次郎君演壇ニ登ル)

○高津仲次郎君(百七番) 私ハ先キニ日本鐵道會社ノ命令書ノ改正ヲセラレ
ンコトヲ、建議スルト云フコトヲ提出シテ置キマシタ、實ハ其ノ建議ヲ疾ニ
御議定ヲ願フテ、其ノ議定ノ結果ニ依ツテ本案ニ對シテ修正ヲ加ヘル考デア
リマシタ、然ルニ最早左様ノ猶豫ノ時日モ御坐イマセヌ、故ニ直チニ本案ニ
向ツテ修正ヲ加ヘル考デアリマス、第一款ノ第一項日本鐵道會社ノ利
益補助金七十萬六千二百二十四圓ト云フノヲ、三十萬圓ニ修正ヲ致ス考ヘ
デアリマス、私ハ政府ガ民間ノ事業ニ向ツテ特別ノ補助ヲ與ヘルト云フコト
ハ絶對的ニ反對ヲ致スモノデハ御坐リマセヌ、其ノ事業ニヨリ又時場合ニ
依ツテハ、相當ノ補助ヲ與ヘルト云フコトハ政策上止ムヲ得ザルコトデア
ラウト思フ、併ナガラ不當ナル過當ナル保護ヲ與ヘマスルコトハ、大ニ私
ノ反對スル所デアリマス、本問題タル日本鐵道會社ノ補助金ハ果シテ相當
デアルカ、過當デアルカト云ヘバ、私ハ甚ダ過當ナル補助デアルト斷言シテ
差支ナイト思ヒマス、日本鐵道會社ハ御承知ノ通り明治十四年ニ始テ其ノ業
ヲ起シテ、上野ヨリ青森ニ至ル迄五百有餘哩ヲ五區ニ分ケ、五ツニ區別ヲ致シ
テ工事ヲ起シタノデアリマス、其ノ當時一般ノ經濟社會ノ有様ハ如何デア
ルカト云ヘバ、御承知ノ通り不換紙幣ノ時代デアツテ、利足ノ最高キ時デア
ル、一般ノ事業ノ有様利益配當ノ多キ時デアアル、如何ナル事業ヲ起シテモ一
割若クハ二割位ノ利益配當ノアルトキデアリマシタ、其ノ時ニ當リマシテ鐵
道事業ノ如キ最利益ノ薄キ永遠ノ事業ニ向ツテ、資本ヲ投ズル者ト云フモノ
ハ甚ダ稀ナル時デアアル、之ニ向ツテ政府ガ其ノ事業ヲ獎勵鼓舞スルニハ、其
ノ時代ニ最安キ八朱位ノ利益ヲ補助シタト云フコトハ、私ハ其ノ八朱ト云フ

テ御坐リマスカラ、幾分ノ餘裕ヲ見積ツテ、原案ノ金額ヲ三十万圓ト修正致シ
タト云フコトハ、適當デアラフト私ハ考ヘル、ソレ故ニ此ノ金額ヲ三十万圓
ニ修正ヲ致シタルデアアル

此ノ説ニ就イテ必然起ルベキ所ノ反對ハ、政府ガ一旦命令ヲシテ補助金ヲ與
ヘルト云フコトヲ定メテ置テ、其ノ命令年間ニ其ノ命令ヲ變ヘルト云フコト
ハ、政府ノ信用ニモ關ハルデ、アラウ又株主ニ向ツテ損失ヲ蒙ラシムルデ
アラウト云フ反對ハ必然起ルデアラウト思フ、成程政府ガ一旦命令ヲ致シマ
シテ、其ノ年限内ニ其ノ命令ヲ變ルト云フコトハ、政府ノ信用ニモ關ハル事
デアアル、故ニ最慎マネバナラヌコトデアアル、去ナガラ私ハ前申シ述ヘル通り
此ノ會社ノ發起人及政府モ初ヨリ八朱ノ利益ヲ保證シヤウト云フコトヲ約
シタルデアアル、今日ノ如ク八朱以上一割若クハ一割一二分以上ノ利益ノアル
コトハ偶然ノコトデアアル、實ニ望外ノ利益デアアル、目的以外ノ利益ヲ今日ハ
得テ居ルデアアル、ソレ故ニ當初此ノ會社ヲ起ス時ノ八朱ヲ保證スルト云フ
主眼タル、此ノ八朱ト云フ目的ニ叶ヒサヘスレバ、決シテ私ハ差支ヘナイト
思フ、又株主ノ利益ヲ幾分カ損スルト云フコトハ是モ又恐ルヘキコトデア
リマスル、ケレドモ兎ニ角今アル日本鐵道會社ト云フモノハ非常ノ補助ヲ受
ケ、過當ノ恩惠ニ浴シテ居ツタコトデアリ、御坐リマスカラ、以上ノ理由ヲ以テ政
府ガ會社ニ向ツテ命令ヲ致シタナラバ、株主モ德義上之ヲ承諾セネバナ
ルマイト思フ、今日補助ノ弊ヲ一洗シ、情實ノ弊ヲ破ラントスル時ニ當ツテハ、
區々タル事情ニ斟酌セズシテ、以上述ベルガ如キ道理ガアルナラバ、充分此
ノ命令書ヲ改正シ、十數年間政治上ノ積弊ヲ打破ブルト云フコトニ、充分諸
君ハ奮ツテ御賛成アルヤウニ願ヒタイ

(渡邊治君演壇ニ登ル)

○渡邊治君(二百十二番) 私ハ只今ノ高津君ノ動議ニハ反對デ御坐イマスル
其ノ反對ハ皆さん御承知ノ通り、私ハ所謂菅君ノ案ニ賛成シタル軟派デ査定
案ニハ反對ダ、併シ査定案ニ反對デアルト云フ精神ヲ擴張シ來ツタナラバ、
今日高津君ノ動議ニハ尙々反對シナケレバナラヌデアアル、ト申スノハ最前
犬養君ノ説ニハ議會ハ感情的ニ訴ヘテ事ヲスルト云ハレタガ、私ハ此ノ案ニ
反對ヲシマスト申スハ、成程査定案ノ全体ニ於キマシテハ、所謂神聖ナル憲法
ヲモ犯シハセヌカ、或ハ我々ノ生命財産ヲ托スル法律ヲ、恣ニ動シハセヌカ
ト云フデ御坐リマス、併シ大ナルモノハ犯シテモ宜シイガ、小ナルモノハ犯
シテ惡ルイ、到底法律或ハ憲法ヲ此ノ議會ガ自ラ犯シテ居ル、大キイモノガ
ソレデアアルカラ、即小イコトハ序ニヤツつけロト云フハ、無責任ナル議
論デ御坐リマセウ、かりうめニモ議會ガ責任ヲ有ツテ議論シヤウトスレ
バ、大キナモノモ小ナモノモ、法律デ以テ動サナケレバナリマセヌ、諸君、
何故法律ヲ以テ動サレヌデアリマセウカ、今茲ニ鐵道會社ト政府トノ
間ニ成立ツタ契約ヲ、恣ニ一片ノ議會ノ議決ヲ以テ削減スルナラ、何故公
債ト云フモノヲ全廢シナイデアラウカ、馬鹿ラシイ舊幕時代ノ侍ニ金ヲ

遣ルノハ止メルト云フガヨイ譯ナノダ、ケレドモ之ヲ止メルトガ出來ナイ
ノハ、最前犬養君ノ説ニアツタ通り宜シイ話デアアルガ、徳川政府ガ明治政
府ニ變ツテモ、前政府ノやつタ國家ノ責任ト云フモノハ、後ノ政府ガ受繼ガ
ネバナラヌ責任ガアル故デ御坐リマセウ、成程明治政府ノ保護情實、此ノ保
護情實ヨリシテ、幾千万ノ金ヲ無駄ニ費スハ分リキツタ話、併シナガラ金ヲ
無駄ニ費スト云フコトハ、其ノ尻拭ヒノ爲ニ自ラ法律ヲ破リ、實際ニ出來得
ベカラザルコトヲ議會ガシテ、正當ナコトデアリマセウカ、私ハ甚ダ此ノ
點ニ於テ査定案ニ反對スル、私ノ精神ガ即取モ直サズ茲デ査定案ニ反對シナ
ケレバナラヌト斷言シマス、ソレモ亦實際ニ出來ルコトナラ宜シイ、成程一
場ノ議決デ二十一萬七千ト云フ北海道鐵道ヲ削減シ、一場ノ議決ヲ以テ七十
萬ヲ三十萬ニ減額ガ、果シテ有効ニナルナラ宜シウ御坐リマスガ、憲法ニモ
背キ、法律ニモ背キ、實際ニ必ズ出來ラレナイコトデアアル、出來ラレナイコ
トヲ議決スル、其ノ影響ハどうデアアルカト云フニ、一時經濟社會ヲ破壊シ、一
時商業社會ヲ威シテ見ル衆議院ノ議決ト云フモノガ、どれ丈効能ヲ有ツテ居
ルカ、無効カ有効カ知ラナイ、經濟社會ヲ破壊シ、良民ヲ威シ、株券ヲ上ゲ
テ見タリ、下ゲテ見タリ、其ノ結果二十一萬圓ヲ削ルコトガ出來ズ、七十萬
ヲ三十萬ニ節減モスルコトガ出來ナイ代リニ、哀ナル結果ヨリ外ニナイ、ソ
レデ其ノ結果ヲ見ズシテ經濟社會ヲ破壊シ、良民ヲ蹂躪スルニ止ルモノデ御
坐リマス、私ハ斯ノ如クニ法律デ成立チ、正當ナル手續ヲ履ンデ居ル有効ノ
契約ヲバ、此ノ議會ガ恣ニ破壞シ蹂躪スルハ、恨ノやつ當リト云ハ子バナリマ
セヌ、恨ノやつ當リト申スハ明治政府ハ宜シクナイト云フ一方ノ恨ガアル、
其ノ恨ヲバ晴サン爲ニ經濟社會ノ獨立ヲ踏ミ毀スハ、恨ノやつ當リデ御坐リ
マセウ、斯ノ如ク政府ガ失策スル、ソレヲ冠ツテ責ニ當ルト云フハ正當ノ順
序デアアル、ケレドモ國民多數ガ政治上ノ恨ノやつ當リヲ受ケテ、自分ノ財產ノ
價值ニ變動ヲ來スト云フやつ當リヲ受ケテ、國民タルモノハ然ル可キモノデ
御坐リマセウカ、若シモ我邦ニ司法ノ獨立ト云フモノガ十分御坐リマシテ、
斯ノ如ク無道ナル……其ノ當ヲ得テ居ラヌ、決議ヲシタ爲ニ經濟上ヲ擾亂ス
ル、擾亂サレタ爲ニ非常ナ損害ヲ受ケル、此ノ損害ヲ司法權ノ獨立ガ十分ア
ル國デ之ヲ訴ヘレバ、恐ラク衆議院ハ損害ヲ償ハ子バナリマセヌ、只私ハ悲
ム、日本ニ於テ十分司法權ノ獨立ナキヲ悲ムノデ御坐リマス、殊ニ又此ノ政
府ノ信用ト云フコトハ、鐵道會社ノ契約ヲ恣ニ削ルハ、前申シタケレドモ政
府ノ信用ト云フモノガ、之ヲ直チニ解セバ薩長政府トカ、藩閥政府トカ、情
實政府トカ極メテ宜シカラシ、德義上答ムベキ政府ト取ルガ、是ハ憲法政治
ヲ實施シ、法律ヲ守リ、議決ヲ重ンズル政治デ……此ノ政府ノ何タルヲ考
レバ、政府ノ信用ト云フモノハ立憲國民ガ、即我々ガ解シテ此ノ責ニ當ラ
セル大事ノ玉デアアル、即政府ノ信用ト云フモノハ國會ノナイ以前ノ政府ト思
ツテ、諸君ガ信用ヲ付セズト云フ、何ゾ圖ラン我々十分ノ德義上ノ責ヲ以
テ、きりもりシテ行カナケレバナラヌ、大事ノ玉ノ信用デアルトシテ見レバ、

政府ノ信用ト一口ニ申スハ感情的ノ議論デ、痛快ハ痛快ダガ、國民ニ對シテ經濟社會ヲ破壞シ、貧民ヲ蹂躪スルノ結果ニ至ルト我々ハ斷言スル、殊ニ此ノ鐵道會社ノ保護ニ就イテハ何ト書イテ御坐リマス、各區八朱ト書イテアリマス、八朱ト書イタモノガ成程其ノ契約ハ明治十五年ノ昔ニ成立ツテ居ルニシテモガ、之ヲ一場ノ議決ニ依ツテ八朱ニ下ゲルナラ、何故ニ五朱ニシナイカ、なぜ止メナイカ、止メルモ宜シイ、五朱ニスルノモ宜シイ、全區ヲ通ジテ八朱ニシテモ、法律ヲ犯シ實業社會ヲ蹂躪スル責任ハ同ジコトデアル、何ゾヤ各區八朱ヲ全區トセズシテ、止メテ仕舞フガ宜シイノデアアル

○石田貫之助君(三十一番) 論辯中デアリマスガ、法律デハ御坐リマセヌ

○渡邊治君(二百十二番) 一法律トハ言ハイ、契約ト云フコトハ最前カラ屢申シテ居リマス、法律デアルト申サヌ、斯ノ如キニ此ノ内務省ニ付屬シテ居ル所ノ北海道鐵道、或ハ大藏省ニ付屬スル日本鐵道、或ハ續イテ郵船會社、斯ノ如クシテ順次正金銀行條例トカ、日本銀行條例トカ、若クハ經濟實業ノ大本タル國立銀行ノ特典モ、皆さつと破壊シテ擯ハナイ、ケレドモ斯ノ如ク破壞蹂躪ガ果シテ効ヲ爲スカ、効ヲ爲サルノミナラズ、議會ノ價值ヲ下シ禍ヲ來スノ大ナルヲ恐レル、即最前ノ如ク感情的ノ議論スルヲ止メテ、此ノ案ハ滿場一致ヲ以テ否決サレンコトヲ希望シマス

○石田貫之助君(三十一番) 發言ノ通告ガ他ニ御坐リマスガ

○議長(津田眞道君) まだアリマスガ反對計リ、賛成ノガナイ

○石田貫之助君(三十一番) 今ノ動議ニ賛成デアリマスガ、私ニ發言ヲお許シナリマセウカ

○議長(津田眞道君) 賛成ナラ宜シウ御坐リマス

(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(三十一番) 私ハ高津君ノ動議ニ賛成致シテ居ルモノデ御坐リマス、只今渡邊君ハ此ノ動議ハ憲法ニ抵觸スル、又法律ニ抵觸スルト述ベラレマシタガ、是ガ第一ノ骨子デアツタ、第二ニ經濟上ニ紊亂ヲ來スト云フコトデアアル、經濟上ニ紊亂ヲ來スカ來サヌカト云フコトハ、人々意見ヲ付スル所デアリマスカラ、私ハ之ニ就イテハ反對ノ意見ハ長々シク述べナイ、サリナガラ第一骨子トナツテ居ル憲法ニ抵觸スル、法律ニ抵觸スルト云フニ至ツテハ、私ハ是非トモ述べナケレバナラヌ、私ノ考ヘルハ違憲デハナイ、渡邊君ノ議論ハ間違ツテ居リマス、箇様ナモノガ憲法ニ抵觸スルト云フノハ憲法第一條カラ七十六條迄ノ間ニどこニ御坐リマセウカ、此ノ七十六條ヲ見マス、是ト六十七條即末項ニ當ルモノデアアル、此ノモノハ……政府ノ義務ニ屬スル歲出ハ政府ノ同意ナクシテトアリマス、其ノ他ニ又七十六條ノ第二項ニハ如何ニアアルカ、先刻申シマス通り歲出上政府ノ義務ニ係ル現在ノ契約、又ハ命令ハ總ベテ六十七條ノ例ニ依ルト書イテアル、箇ニ渡邊君ガ言ハレル如ク箇様ナコトハ廢棄スル、或ハ減額スルト云フコトガ、憲法ニ抵觸スルト云フ明條ガ一ツモナイノミナラズ、此ノ事ハ斯クシテ議決スルコトヲ得

ルト云フ、如何セン反對ガ憲法ニ掲ゲテアルノデアリマス、今申ス通りニ歲出上政府ノ義務ニ係ル現在ノ契約、又ハ命令ハ總ベテ六十七條ノ例ニ依ルトスレバ、此ノモノハどうデ御坐リマセウ、政府ノ義務ニ係ル現在ノ契約、命令デ契約シテ居ルモノデアアル、是ガ若シツレデナイト云フナラ私ハ承リタイ、又憲法ノ明文ニアレバ承リタイ、決シテ私ハナイト云フコトヲ斷言致シマセウ、此ノモノハ如何ナスカト云ヘバ、六十七條ノ例ニ依ルトアル、第六十七條ハ如何デアルト云フタナレバ、總豫算中ニ於テ規定スベキモノニシテ、議決ノ結果ガ廢棄、或ハ削減シタラ、政府ガ同意シナケレバ効ガナイト書イテアル、スレバ廢棄削減ノ効ガナイト云フ手續ハ如何デアアルカ、此ノ會ニ於テ議決シナケレバ廢除削減スルト云フガ分ラナイ、今即之ヲ七十六條ノ第二項ニアルモノヲ、六十七條ノ明文ニ依ツテ茲デ削ルノデアアル、之ヲ減額シヤウト云フノデアアル、又會計法補則……私ハ今日持參セナダガ、會計法補則ハ即法律トナツテ居リマス、是ハ政府ガ御勝手ノ通りニコレ、ハ既定ノ歲出トカ、或ハ法律ノ結果トカ、誠ニ御都合ヨク列記シテアル、我々民間ノ議者ハ常ニ批難シテ居ル、ツレハ政府ノ義務ニ係ル歲出トハ、如何ナルモノカト云フタナレバ、年限ヲ定メ政府ガ保護金ヲ與ヘル、即郵船會社トカ日本鐵道會社トカ云フモノガ、即政府ノ義務ニ係ルモノデアルト、立派ニ七十六條ノ第二項ヲ詳細ニ説明シタノガ、會計法補則ノ第何條デアツタカ御覽ニナレバ分ル、其ノ中ニ書イテアル、ツレハ即議スルト云フコトデアアル、之ニモ拘ハラズシテ憲法ニ抵觸シテ居ルトカ、憲法ヲ無視シテ居ルトカ云フヤウナコトハ是ハ怪シカラヌコトデ、私ハどうモ此ノ事ヲ解スルコトガ出來ナイ、又法律ヲ無視スルトカ法律ニ抵觸スルトカ云フコトヲ申サレマシタ、ツレハ人様ノ發言中ニどう斯ウ云フノハ爲スベキ事柄デナイト考ヘテ居リマシタガ、法律デモナイモノヲ法律々々ト見テ議セラレルノハ筋ガ違ツテ居ル、大切ナ時間ヲ潰シ、無用ナ論辯デアルト思ヒマシタカラ、已ムヲ得ズ云フタガ法律トハ決シテ言ハヌト申サレタガ、是ハ明日ノ筆記ヲ御覽ニナレバ分ル、言ハナイト云フコトデアリマスカラ、然ウデナイト云フコトハ御承知デアアル、此ノ憲法ノ正條ニ依ツテ議シタルノデアアルカラ、減額スルノガ當不當デアルト云フコトハ、發議者カラ充分ニ述べラレマシタ所デアアル、之ニ就イテ聊意見ガ述べタイガ、先ツ此ノ憲法上デ議シよるノニ、憲法以外ノコトヲナスト云フ論者ガ現ハレタカラ、第一着ニ是ハ不當ノ論辯デアルト云フテ論辯シテ置キマス

(豐田文三郎君討論終結ノ動議ヲ起シマス)

○議長(津田眞道君) 時間ガ參リマシタケレドモ、少シク時間ヲ延シマシテ……山中隣之助君——山中君

(天野爲之君二十五番ガ通告ヲシテ置キマシタ)

(山中隣之助君演壇ニ登ル)

○山中隣之助君(二百五十三番) 只今高津君カラ、日本鐵道會社保護ノ七十

万圓餘ヲ三十万圓ニスルト云フ説ガ御提出ニナリマシタ、聊之ニ向ツテ事實
上ノ考ヘテ述ベテ反對ヲ致サナケレバナリマセヌ、只今ノ高津君ノ御説ノヤ
ウナ御論ニナリマスト、詰リコレハ約束ヲシテ約束年限中デアラカト云フ
御論デ、然ウ云フ御論ニ踏入ツタナラバ、隨分此ノ官有物拂下ゲデモツレヲ
今日ハ其ノ時分ヨリ高クナツタカラト云フテ、取返スコトガ出來ルデアラウ
ト考ヘル、既ニ一例ヲ舉ゲマスト兵庫ノ川崎ノ造船所ヲ政府ガ二十万圓ヲ拂
下ケマシタガ、年賦打切デ五万圓少キニナルデアアル、之ヲ一會社ガ既ニ八
十五万圓デ昨年買受ケル契約ヲシタ例ガアル、然ル時ニ之ヲ取返スコトガ出
來ルナレバ、私ハ徹頭徹尾賛成シヤウト考ヘマシタ、決シテ然ウ云フコトノ
出來ルモノデナイト考ヘル、且此ノ會社ノ成立ツ時節ヲ能ク諸君御考ヘテ請
ヒタイト考ヘル、其ノ時世ノ中ノ金利ハ一割五分ノ金利ハ極安イ金利デアツ
テ、二割カラ極點ハ二割五分ノ時分ニ、此ノ會社ガ成立ツタノデアリマス、
隨分此ノ八朱ノ補給ハ御坐リマスガ、殆ト株金ノ應ズルモノガナイト云フ
テ宜シカッタ時節デアアル、隨分岩倉右大臣ハ餘程此ノ鐵道ニハ心配シテ、
諸縣ノ知事ニ命ジテ株主ヲ募ツタコトハ諸君能ク御記憶デ在ツヤルデアラ
ウ、隨分此ノ申込ハ澤山御坐イマシタガ、扱拂込ノ一段ニナツテ見ルト、少
シモ金ノ集ラナカッタノハ詰リ八朱ノ補給ガ其ノ時ニ下等デアツテ集ラヌ
デ、世ノ中ノ金利ノ低カッタト云フコトハ明瞭ニ諸君分リニナルデアラウ
考ヘル、然ルニ五圓拂込ヲシタ株ハ、殆ト一圓五十錢位ニ下ツタ事實デアツ
テ、如何ニモ八朱ノ補給ハマダ其ノ時ニハ寔ニ低イ補給デアツタラウト考ヘ
ル、然ルニ明治十五年ニ日本銀行ガ設立ニ成ツテ、大藏大臣ガ日本ノ金利ノ
高イノヲ非常ニ憂ヘラレテ、餘程日本銀行デ金利ヲ下ルコトニ力メラレテ、世
ノ中ノ金利ハ餘程下リマシタ、下ルニ從ツテ八朱ノ補給ハ、或會社デ殆ト
一區ノ如キハ一割以上ノ補給ヲ受ケストモ利益アルガ爲ニ、較ト拂込賣却ノ
價ヲ一時持直ス有様ニナツタノハ、全ク日本銀行ノ設立——政府ノ金融社
會ノ振ヒノ宜シカッタコトデアリマセウカト考ヘマス、ケレドモモト設立ノ
前ニ遡ツテ考ヘマシタレバ、決シテ八朱ノ金利ハ下等デアツタト私共ハ考ヘマ
ス、且又此ノ種々御論デアリマシタガ格別ソレニ向ツテ反對スル要點モ御坐
イマセヌガ、斯ク各區ニ分ケタノガ宜シクナイ、各區通ジテ八朱ノ補給ト云
フコトニスルガ宜シイト云フお説ハ、一應御尤デアリマスガ、どうシテモ
然ウ出來ナイ事ガアリマスノデ、着手シテ此ノ年限中ニ漸ク出來テイツタニ
シタ所ガ、十年ノ餘モ見込ヨリ永ク掛ツテ居リマス、然ラバ補給年限ハどこ
デ切リマスカ、切ル年限ノ區域ガナイ、已ヲ得ズ是ハ政府ノ方デモ餘程器用
ノ爲サレ方デアツタジウト私ハ考ヘル、最早來年——能ク記憶シテ居リマ
セヌガ調ベテモ居マセヌガ、來年ニハ第一區ノ補給ノ年限ガ切レルデアラウ
ト思ヒマス、第一區ハ——高崎カラノ先キノ線路デアリマスガ、補給ハ餘リ
ヲ分ケマシタ年限ハ澤山ナイノデアアル、二區モ然ウ分ケテ居ラヌノデ、一區
ダケ宛ノ鐵道ヲ各所ニ許シタ考ヘテ以テ、私ハ政府ハ區域ヲ定メテ補給ノ

年限ヲ定メタノデアリマセウ、左モナケレバ殆ト補給ノ年限ノ度合ガ分ラナ
イデアラウト私ハ考ヘル、年數ガ計ルコトガ出來ナイデアラウト考ヘル、ツ
レ故ニ各區ニ分タノハちツトモ不思議ノ話デナイ、どうシテ斯ウスルヨリ外
ニ仕方ガナイト考ヘル、且之ニ反對スルノハモト政府ノ八朱ノ補給ガアルガ
爲ニ、株券ノ價ガ餘程保ツテ殆ト日本ノ總會社ノ第一等ノ位置ニ位シテ居ル
株式會社ト謂フテモ差支ヘナカラウト考ヘル、隨分相場上デモ殆ト一時ハ
當時デハ少シモ賣買ガ出來マセヌガ、一時ハ日本鐵道會社ノ株券ハ、諸會
社ノ株ノ相場ヲ支配シテ居ルヤウナ有様ヲ隨分致シテ居リマス、補給ノアル
爲ニ補給ノ年限ヲ計リ、利益カラ算盤ヲ持ツテ皆株ノ賣買ヲ致シテ居リマス
ガ、只今邊邊君ノ述ベラレタ通り、公債迄モ之ヲ沒收スルコトガ出來ルナラバ
結構デアアル、併シナガラ斯ウ云フ事ハ徹頭徹尾出來ベキコトデアリマセヌ、又
政府ノ役人ガ之ヲ各區ニ分ケテ八朱ノ補給ヲシタノハ惡イカモ知レヌガ、惡
イト申シテモ致シ方ガナイ、株ハ日日賣買ガ成ツテ最初ノ株主ハ何日マデモ
保續シテ持ツテ居レバ、八朱ノ補給デアアルカラ最初ヨリ八朱以上ノ補給ヲ與
ヘナイト云フコトヲ言フコトモ出來マスガ、日々ニ變リ株主ハ利益ノ配當ヲ
目的トシテ、今日株ノ賣買ヲ致シテ居リマス、是ハ只今非常ノ變動ヲ起シテ
補給ヲ減スコトニ成ルト、發起シテ株主ニ立タ人ガ大變僥倖ヲ得テ居リマ
ス、ケレドモ今日買ツタ人ハ非常ノ損害ヲ被ル、道理上カラ考ヘテモ此ノ議
會ノ德義トシテモ、私ハ第三者ニ向ツテ損害ヲ爲スベキモノカ、爲ス可カラ
ザルモノカ、決シテ私ハ左様ノコトハ爲スベキコトデナイト考ヘル、其ノ道
理カラ考ヘテモ決シテ減スルコトモ出來ズ、又政府ノ契約モ御坐リマスカ
ラ、減スルコトモ出來ズ、又之ヲ減スルヤウナ有様御坐リマシタナラバ、
實ニ諸會社ノ株ノ第一等ノ位置ニ居リマスモノニ、左様ノ激動ヲ生ジタナラ
バ、隨分世ノ中ノ金融社會ニ非常ナル波瀾ヲ生ズルデアラウト思ヒマス、又
充分ニ減スベキ道理ガアツテ減スナレバ宜シイガ、私共ノ考ヘデハ元ノ設立
ノ時期ニ立復ツテ昔ノ事ヲ考ヘタナラバ、減スベキモノデナイト考ヘル、且
又第三者ニ向ツテ非常ノ損害ヲ被ラセルコトハ、此ノ議會ハ德義上トシテ爲
ス可ラザルコトデアアル、又政府ガ惡イト言ツテモ時ノ政府ノ約束シタコトヲ、
此ノ議會デ破ツテ數千人ノ株主ニ迷惑ヲ、損害ヲ掛ケルト云フコトハ、此ノ
會社ノ株ノ爲ニ向ツテ箇様ナ急劇ノコトヲ行フコトハ、爲ス可ラザルコト、
考ヘマス、是又ノ理由ヲ述ベテ反對ヲシマス

○高梨哲四郎君(九十四番) 議長
○議長(津田真道君) 九十四番

(高梨哲四郎君演壇ニ登ル)

○高梨哲四郎君(九十四番) 本員ハ賛成者ナンド、——渡邊君ガ然ウ云フヤ
ウナ經濟社會ニ信用ヲ缺クトカ、經濟社會ヲ蹂躪スルコトカ何ントカ云ハレタ
ガ、是ハ多々益ノ保護ヲ與ヘテ人間ノ心ヲ腐ラシ、保護ノ中ニ立ツテ追從輕薄
ノ人間ヲ拵ヘル、コレゾ經濟社會ノ信用ヲ缺クトカ、經濟社會ヲ蹂躪スルモ

ノデアルトカ云フモノト孰レカ、——私ハ時間モ迫ツテ居リマスカラ、うん
ナまじぬナコトハ長ク云フノデハナイ、併シナガラ經濟社會ヲ蹂躪スルトカ
仰ツルヤルナレバ、此ノ一人一個ノモノニ特別ノ保護ヲ與ヘ、全國人民ノ心
ヲ腐ラシムルト孰レカ、此ノ問題ハ簡單ニ分ルト本員ハ信ジテ居ル、然ウ
シテ法律々々ト云フお話ガ御坐リマセタガ、ソレハ石田君モ述ベラレル通り、
法律ニ依ツテ正當ニ認メラレタル契約デハナイ、然ウ云フコトハナイノデス
カラ、ソレハお間違ヒニ違ヒナイ、憲法ト仰ツルヤルガ憲法モ政府ノ同意ヲ
得ル政府ニ突込ム、斯ウ云フコトハ突込マレテモ政府ハ議會ノ云フ通りニナ
ルダラウト思フ、敢テ政府ハ一人一個ノ人ニ特別ノ保護ヲヤツテ、然ウシテ
民心ヲ失ヒ四千万同胞ノ怨府トナルコトハ、政府ノ得策ニアラザルガ故ニ我
々ハ決シテ急激デモ何デモナイ、着實ノコトハ必ズ政府モ同意スルニ違ヒナ
イ、斯ウ云フ事ニ對シテハ憲法違反ヤ何カハ少シ大業過ル、實際渡邊君ノ仰ツ
——ヤル通り、實際岩倉右府ハ熱心サレタデアラウ、其ノ時ニハ年八分ノ割合
ニ當ルマイト思ツタ、其ノ事ハ日本鐵道會社ノ條約書ニ其ノ精神ガ溢レテ居
ルデハ御坐イマセヌカ、即一箇年ノ純益ガ八分ニ上ラザルトキハ云々ト云フ
意味ヲ以テ、其ノ時分ノ計畫ハ如何ニモ青森迄達スルノハ至難デアル、利益ガ
八分迄アルマイト云フ恐ガアツタ所ガ幸ニ義士——義士ト云ツテ褒メテ置キ
マセウ、國家ニ益スルト云フ譯デ八分ノ利益デ宜シイト云フノデ、日本鐵道
會社ガ出來タ、仁人義士ハ儲カリヤア何ンデモ宜シイト云フノデ、其ノ心ヲ
縲ヘレテ一割以上ノ利益ヲ取ルトハまさか云フマイガ、八分ニ満足シテ宜シ
イノデアアル、所ガ每區ト云フコトガアルノニ付ケ込シテ、此ノ補助ハ每區デア
ルト云フヤウナ、所謂法律家理窟デ以テ八分ノ利益ヲ取ルト云フノガ現在
ノ歴史デス、是ハ隨分旨イ話ダト云フノハ初ハ八分ニナラヌト思ツテ、八分
ニナラヌケレバ保護ヲ願ヒマスと云ツテ、今日ハ之ニ引替ヘ八分以上ノ所
ハ取込ミ、八分以内ノ所ハ幸ニ每區ト云フコトガアルカラ、是デ御保護ヲ願ヒ
マスと云フテ、前ノ仁人義士ガ不仁不義士ニナツテ來タ、ソレデ法律家理
窟ニ云ヘバ行クデ御坐イマセウ、ケレトモ商賣ガ損ヲスレバ兎モ角モ儲ツテ
居ルニ、尙隣ノ家カラ保護金ヲ貰ハウト云フコトハ、虫ガヨスギル、併シナ
ガラ虫ガヨスギルト云ツテ此ノ議會ニ於テ每區ト云フコトヲ讀ミ直サウト云
フノデハナイ、政府ノ同意ヲ求メテ每區ト云フ約束ヲ改メルノハソレハ出來
ルノデアアル、條約書ノ第十條ニ、第一條ニ掲グル鐵道線路ノ工事ハ滿七箇年
デ出來ルト云フ所ガ、中々七箇年デハ出來ナイ、出來ナイカラ明治十七年一
月九日ヲ以テ、副社長殿ヨリもう二年延シテ呉レト云フテ政府ニ歎願書ガ出
テ、政府モ聞居ラレテ居ル、倍其ノ二年ハ今年當リデセウ、本員ノ考ヘデハ青
森當たり迄ハ出來マセタガ、二年デハ出來ナイ、然ウスレバ政府バカリデハナ
イ、鐵道會社デモ七箇年デ出來マセウト云ツタノガ出來ナイ、條約ヲ履行シテ
ナイ、一方ニ保護金ガ付イテ居ルカラ年限ヲ明ニ定メテアル、然ルニソレガ出
來マセヌカラ、今年モ亦御猶豫ト向ウカラ約束ヲ變ヘテ來ルカラ、法律カラ

云ヘバ此ノ解約ハ向ウカラスルノダ、政府ガスルノデナイ、——議會ガスル
ノデナイ、あなた方ノ口調デ云ツタナラハ、此方ガ經濟社會ヲ蹂躪スルノデ
ナイ、向ウガ蹂躪スルノデアアル、向フカラ解約ヲシテ來ル、此方カラ解約シテ
差支ナイ、岩倉右府ガ熱心ニ考ヘタ所ノ契約ハ、初ハ一割二割ヲ儲ケルト云
フノデナイ、即八分ニナレバ宜シイト云フノデアアル、故ニ違法ニアラズ、憲
法違反ニアラズ、經濟社會ヲ蹂躪スルノデナイ、其ノ他ノコトニ就イテどう
モ威張過ギヤウカト云フコトガアルカラ、即情實ガアルノ……斯ルコトニ向
ツテ我々ハ躊躇逡巡スル勿レト斷言シヤウト思ヒマス
(此時討論終結ト呼ブ者アリ賛成々々ト呼ブ者アリ)
○議長(津田眞道君) 討論終結ノ動議ガ出デ、賛成ガアリマスカラ決ヲ採リ
マス、討論終結ト認メル諸君ハ起立
起立者 多數
○議長(津田眞道君) 多數——依ツテ討論終結ト認メマス、ソレデハ第一ニ
高津君ノ修正說ニ就イテ決ヲ採リマス、高津君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立
起立
○議長(津田眞道君) 多數ト認メマス
(異議ノ申立ヲシマスト呼ブ者アリ、又賛成々々點呼々々ト呼ブ者アリ)
○議長(津田眞道君) 異議ノ申立ガアリマスカラ、記名投票ニ致シマス
(書記官投票用紙ヲ配付ス)
○議長(津田眞道君) 是レヨリ點呼ヲ始メマス
(齊藤書記官氏名ヲ點呼ス)
○議長(津田眞道君) 是ヨリ開票致シマス
(書記官投票ノ數ヲ計算ス)
○議長(津田眞道君) 投票ノ結果ヲ報道シマス
總數百五十八
之ヲ可トスル者 七十四
之ヲ否トスル者 八十四
否決致シマス、是ヨリ外ニ討論ガナケレバ、本案ニ就イテ決ヲ採リマス
○議長(津田眞道君) 小坂君
○議長(津田眞道君) 小坂君
(小坂善之助君演壇ニ登ル)
○小坂善之助君(百七十五番) 私ハ此ノ査定案ニ反對ヲ表スルモノデアリマ
ス、併シナガラ……
(山田東次君、討論終結後ニなぜ辯論ヲ……)
○議長(津田眞道君) 討論終結ハ違ヒマス
○小坂善之助君(百七十五番) 討論終結ニナツタノハ、鐵道會社ノ保護金ヲ
……(誤解々々ノ聲起ル)併シナガラ前日來ノ議場ノ傾ヲ見マスルニ、一モ二

モナク査定案ガ多數ヲ決シマスル、今茲ニ此ノ査定案ニ對シテ不同意ヲ述ベ
テモ……

○議長(津田真道君) 既ニ討論終結ノコトガ極ツタ以上ハ、最早發議ヲ……

○小坂善之助君(百七十五番) 暫クお聴キナサイ
(通シテノ討論終結デアリマスと呼ブモノアリ)

○議長(津田真道君) 討論終結ハ通シテデアリマス

○議長(津田真道君) お控ヘナサイ

○議長(津田真道君) お控ヘナサイ

○議長(津田真道君) 小間君ヲ……
(會稱書記官長) 守衛……小間君ヲ議場外ヘ……議長ノ命デアアル……

○議長(津田真道君) 守衛……小間君ヲ議場外ヘ……議長ノ命デアアル……

○議長(津田真道君) 何ンデス……靜ニナサイ……拙者ノ考ト違ヒマスガ、
然ウ云フれ説デアルナラバ衆議ニ問ヒマセウ

○議長(津田真道君) 暫クツレデハ小坂君……
(小坂善之助君演壇ヲ下ル)

○議長(津田真道君) 當席デハ討論終結ハ、高津君ノ修正案ニ對シテノコト
ハ考ヘテ居リマスルガ、併シナガラ諸君ハ總体ニ就イテノ討論終結トお認デ
アルナラバ、衆議ニ從ヒマセウ、之ヲ衆議ニ問ヒマス

○議長(津田真道君) 拙者ノ命令ヲお聴キニナラヌカラデス
(議長ハツレヲ執行サレタカト呼ブモノアリ)

○議長(津田真道君) 暫ク……取消シマス

○議長(津田真道君) 暫ク……取消シマス

○議長(津田真道君) 間違デハナイ、拙者ハ間違ツテハ居ナイケレドモ、諸君
ト拙者ノ考ガ違ツタ……

○議長(津田真道君) 然レバ……
(只今ノ小間君ノコトヲ確メテ置カナケレバナラヌト呼ブモノアリ)

○議長(津田真道君) 拙者ノ考ト、諸君ノ考ト違ツテ居ツタ……
(議長々々ノ聲起ル)

○議長(津田真道君) 拙者ハ間違ツタトハ思ハヌ、只今決ヲ採ル所デアアル、お
控ヘナサイ、お控ヘナサイ、發言ハ許サヌ、お控ヘナサイ、採決ノ場合デアアル

先刻ノ討論終結ト云フ議論ハ——動議ハ全体ニ就イテマツタナレバ、左様
ニ致シマセウ、ツレ故ニ決ヲ採リマス、先刻ノ討論終結ハ全體ニ就イテマ
ツタト認ムル諸君ハ起立

○議長(津田真道君) 多數デアリマス、討論終結ハ全體ニ就イテノ討論終結
ト致シマス、ツレデハ是カラ決ヲ採リマス

○議長(津田真道君) 最早討論終結ニ決着シマシタカラ、發言ヲ許シマセヌ
(小間君ノコトハ……ト呼ブモノアリ)

○議長(津田真道君) 小間君ノコトハ最ウ宜シイ、引摺リ出サナクテモ宜シ
イ

○議長(津田真道君) 議長ノ命令ニ抗シタ者ハ……
(堀内忠司君、ツレハ怪シカラヌ……)

○議長(津田真道君) 議長ガ控ヘテ居レト云フノニ、控ヘナイト云フテモ宜
シイカ……

○議長(津田真道君) まあ宜シイ……
(津田守彦君、ツレハ宜シクナイ……)

○議長(津田真道君) 佐々田君ノ動議ノ修正説ニ就イテ先ヅ決ヲ採リマス、
佐々田君ニ賛成ノ諸君ハ起立

○議長(津田真道君) 少數ニ就キ消滅、次ニ菅君ノ修正案、菅君ノ修正案ニ
同意ノ諸君ハ起立

○議長(津田真道君) 少數ニ就キ消滅、次ニ菅君ノ修正案、菅君ノ修正案ニ
同意ノ諸君ハ起立

○議長(津田真道君) 多數ニ就キ査定案ニ決シマス
起立者 多數

○議長(津田真道君) 多數ニ就キ査定案ニ決シマス

明日ノ議事日程ハ矢張豫算案
午後四時四十五分散會

速記録第四十四號正誤

頁	段	行	誤	正
六九一	上	三〇	度マデト云	度デ増ス
七〇二	下	二七	天野君ノ	濱野君ノ
七〇九	上	一六	川真田德三郎	贊成ト呼
七八三	上	一六	君贊成ト呼	ブ者アリ
七八三	上	一六	東尾平太郎君	磯田真造君
七八三	上	一六	(八十三番)	(八十二番)

